

# 滋賀県 景況調査結果報告書

令和4年度 第1四半期  
(令和4年4～6月)

## 目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和4年4～6月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵送アンケート

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	メール	合計
回答数	345	47	8	6	406
(割合)	85.0%	11.6%	2.0%	1.5%	100.0%

(端数の四捨五入により、各項目の合計が100%とならない)

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和4年5月20日～6月17日

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

回答企業数:406社(回答率54.1%)

※大企業32社、中小企業374社(うち小規模事業者134社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	21	1	0	4	6	32
中小企業・ 小規模事業者	150	72	22	32	98	374
合計	171	73	22	36	104	406
(業種別比率)	42.1%	18.0%	5.4%	8.9%	25.6%	100.0%

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	16	9	7	5	24	61
南部地域	39	13	1	6	17	76
甲賀地域	26	11	3	4	10	54
東近江地域	30	10	3	4	12	59
湖東地域	17	7	2	9	15	50
湖北地域	21	10	4	3	11	49
高島地域	22	13	2	5	15	57
合計	171	73	22	36	104	406

## 1. 調査概要

## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【結果の概要(業況DI)】

- **【全体】** 今期は▲7.4と、前期と比べて17.0ポイント改善した。  
来期は▲10.1と、マイナス幅が拡大する見通しである。
- **【規模別】** 大企業では+9.4とプラスに転じ、中小企業(小規模事業者を含む)では▲8.8とマイナス幅が縮小した。  
来期は、大企業が+3.1とプラス幅が縮小し、中小企業は▲11.2とマイナス幅が拡大する見通しである。
- **【業種別】** すべての業種で、前期と比べて改善した。サービス業はプラスに転じ、その他の業種はマイナス幅が縮小した。  
来期は、製造業はマイナス幅が縮小する一方、卸売業と小売業はマイナス幅が拡大し、サービス業はプラス幅が縮小し、業種によって見通しに違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和4年4月~6月、来期:令和4年7月~9月

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 業況DIの推移

(平成20年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



## 1. 調査概要

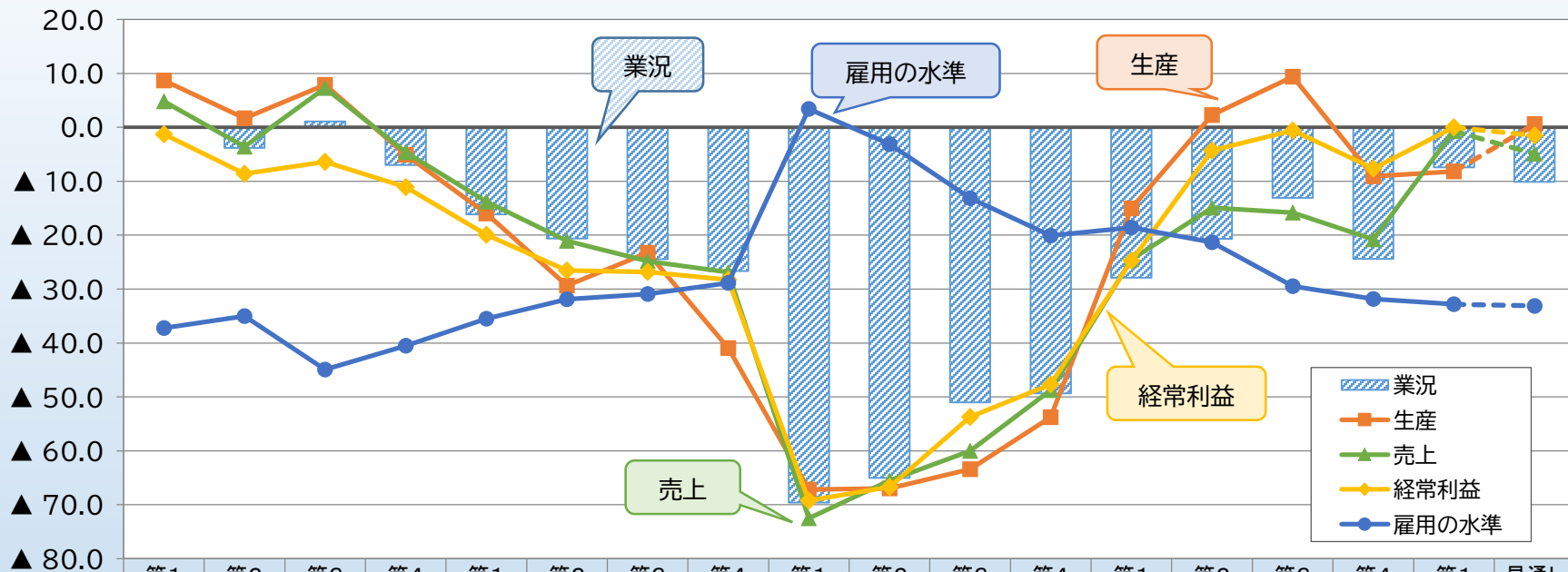
## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 各種DIの推移 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
業況	0.0	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 10.1
生産	8.7	1.7	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	0.6
売上	4.8	▲ 3.6	7.3	▲ 4.6	▲ 13.8	▲ 21.1	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 72.5	▲ 65.5	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	▲ 4.9
経常利益	▲ 1.3	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 11.1	▲ 19.9	▲ 26.5	▲ 26.8	▲ 28.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	▲ 1.5
雇用の水準	▲ 37.2	▲ 35.0	▲ 44.9	▲ 40.5	▲ 35.5	▲ 31.9	▲ 30.9	▲ 28.9	3.4	▲ 3.1	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 33.1

【今期(令和4年4～6月期)の景況】※前年同時期との比較  
 業況・生産・売上・経常利益の各DIはマイナス幅が縮小した。  
 雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

【来期(令和4年7～9月期)の見通し】  
 生産DIはプラスに転じ、業況・売上の各DIはマイナス幅が拡大し、経常利益DIはマイナスに転じる見通し。  
 雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

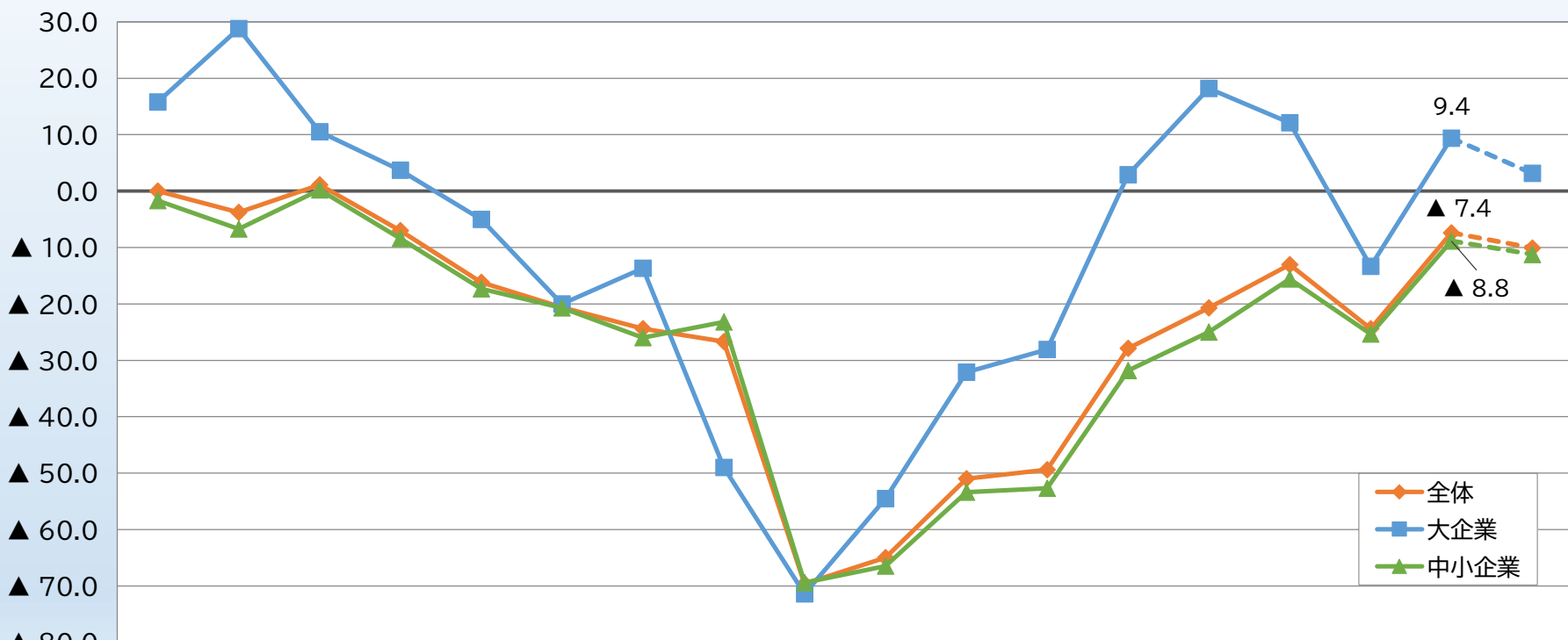
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 【企業規模別】業況DIの推移 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



【大企業】

今期: +9.4とプラスに転じた。

来期: +3.1とプラス幅が縮小する見通し。

【中小企業】

今期: ▲8.8とマイナス幅が縮小した。

来期: ▲11.2とマイナス幅が拡大する見通し。



## 1. 調査概要

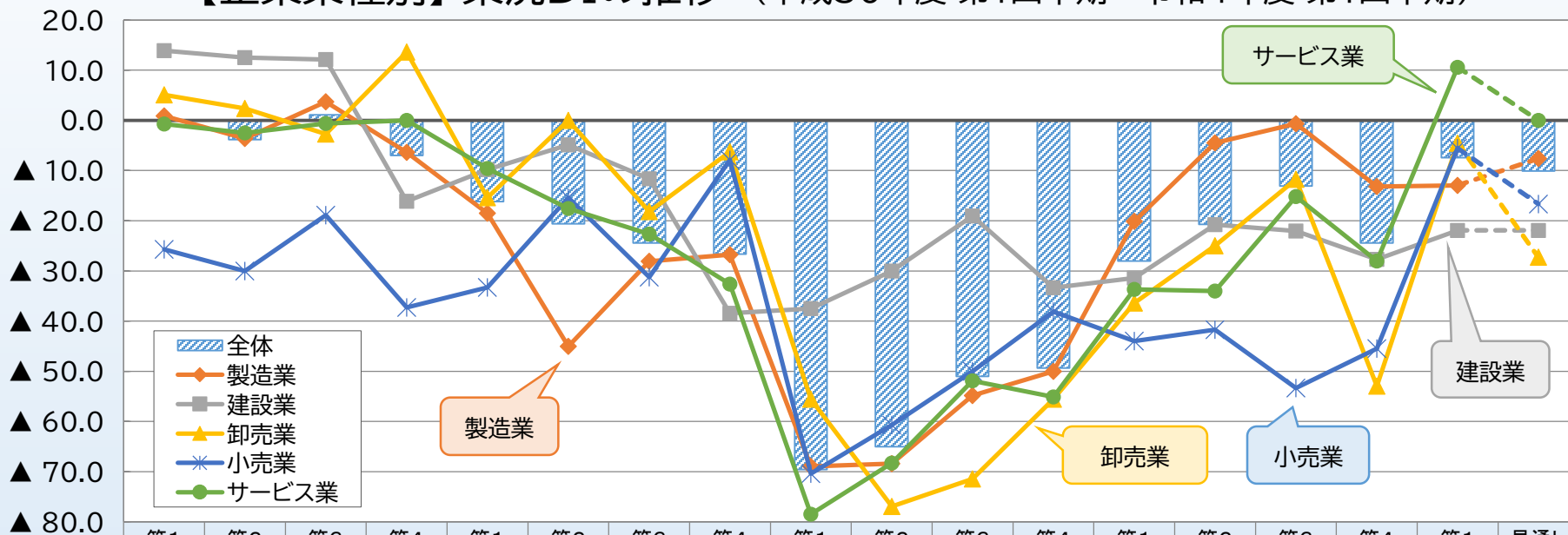
## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【企業業種別】業況DIの推移 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



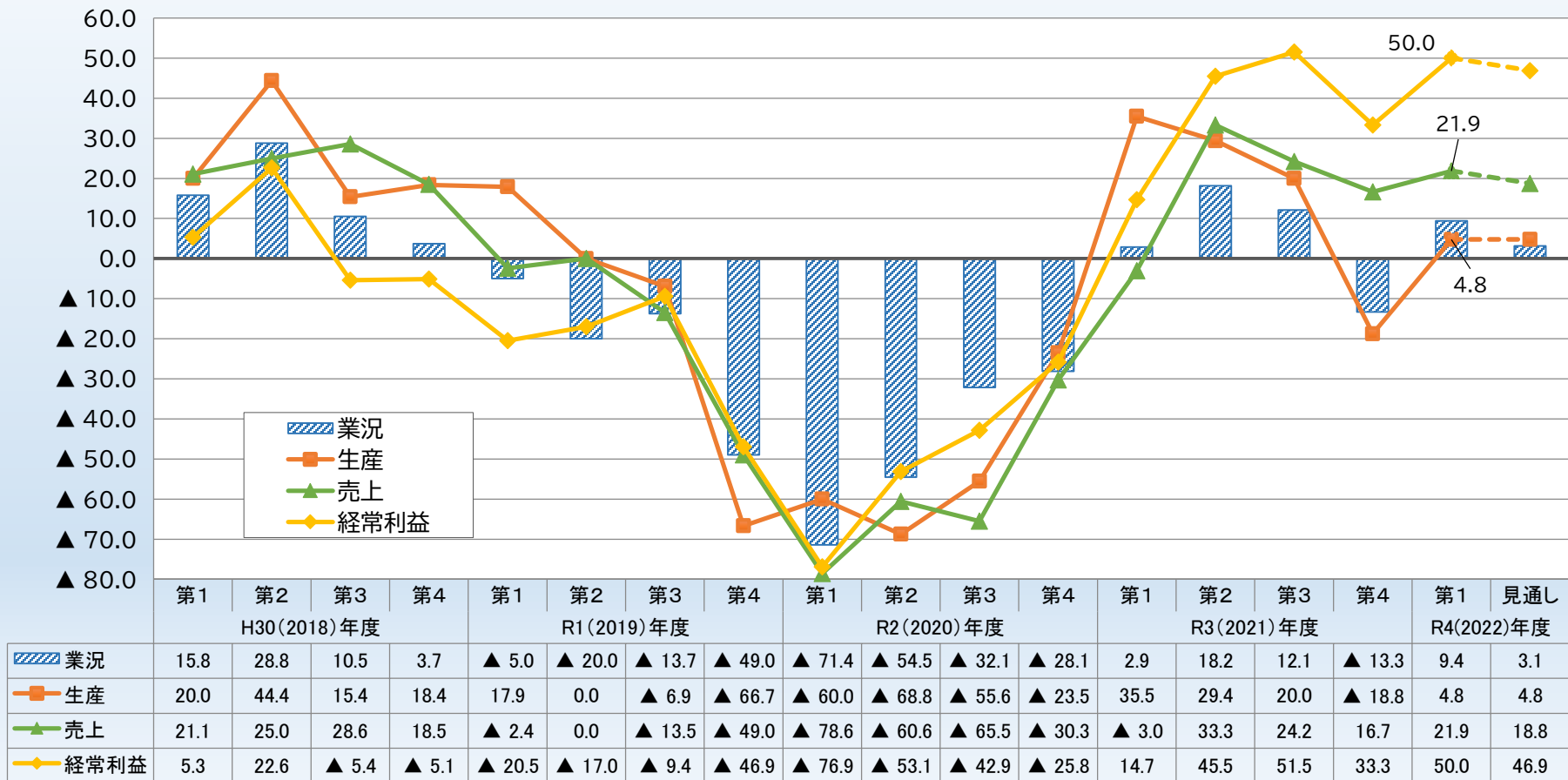
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
全体	0.0	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 28.0	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 10.1
製造業	0.9	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.5	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.1	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 7.6
建設業	13.9	12.5	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 21.9
卸売業	5.1	2.4	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 27.3
小売業	▲ 25.7	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 44.0	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 16.7
サービス業	▲ 0.7	▲ 2.5	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	0.0

【製造業】	今期: ▲12.9とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲7.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【建設業】	今期: ▲21.9とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲21.9と同水準の見通し。
【卸売業】	今期: ▲4.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲27.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【小売業】	今期: ▲5.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【サービス業】	今期: +10.6とプラスに転じた。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。



1. 調査概要    2. 全体    **3. 規模別**    4. 業種別    5. 追加設問

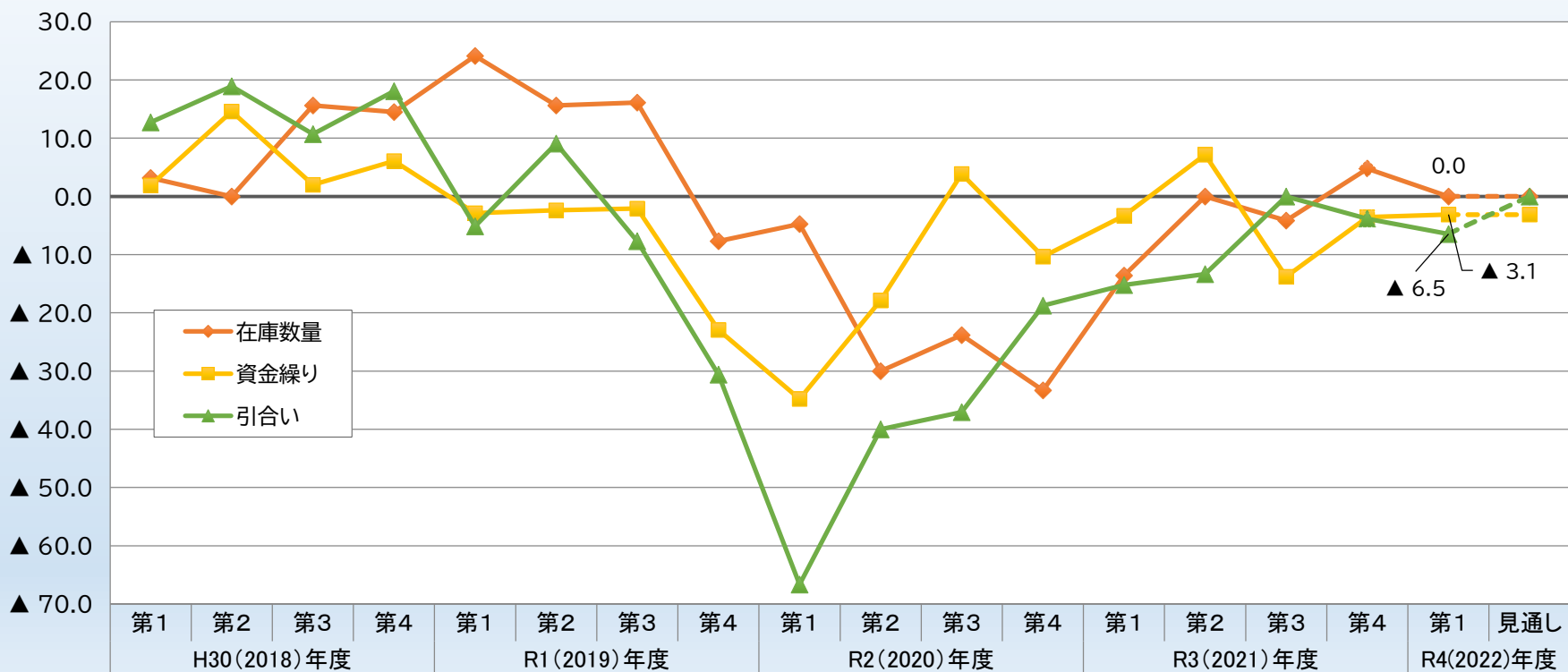
## 【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



【業況】	今期: +9.4とプラスに転じた。	来期: +3.1とプラス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: +4.8とプラスに転じた。	来期: +4.8と同水準の見通し。
【売上】	今期: +21.9とプラス幅が拡大した。	来期: +18.8とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +50.0とプラス幅が拡大した。	来期: +46.9とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    **3. 規模別**    4. 業種別    5. 追加設問

## 【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



【在庫数量】	今期:0.0とプラス幅が縮小した。	来期:0.0と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期:▲3.1とマイナス幅が縮小した。	来期:▲3.1と同水準の見通し。
【引合い】	今期:▲6.5とマイナス幅が拡大した。	来期:0.0とマイナス幅が縮小する見通し。

## 1. 調査概要

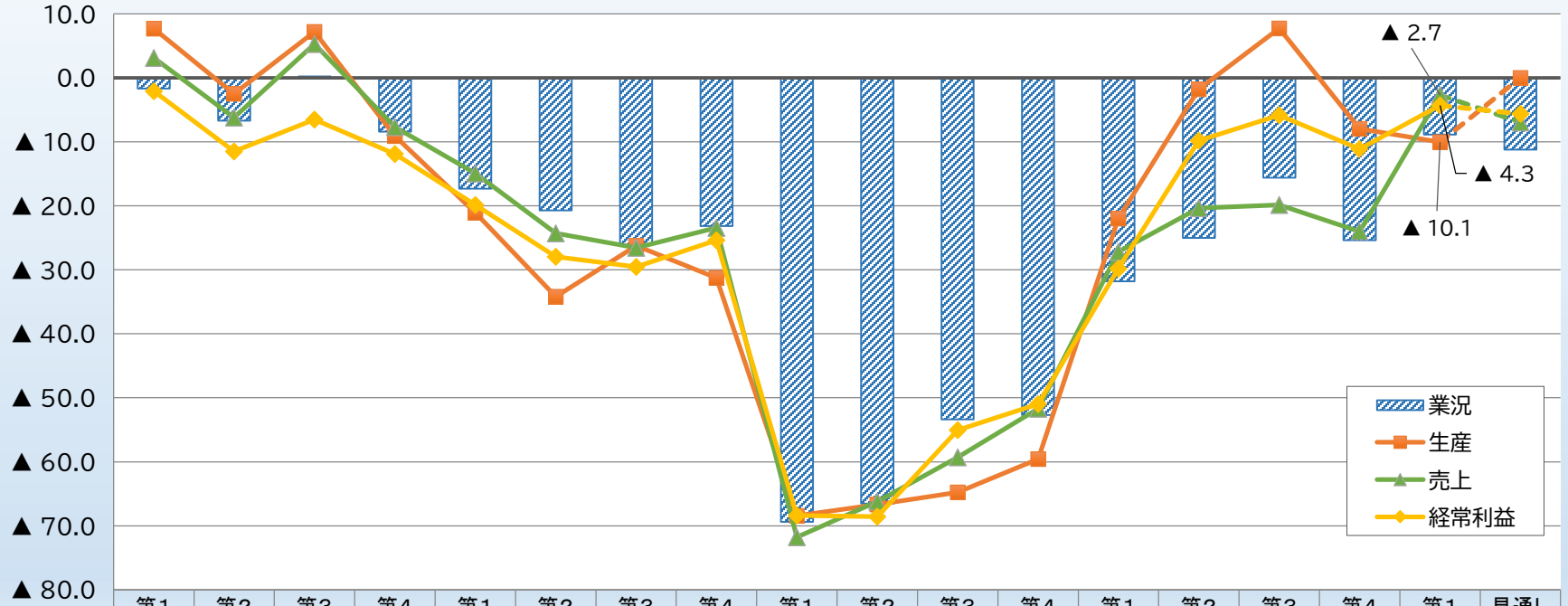
## 2. 全体

## 3. 規模別

## 4. 業種別

## 5. 追加設問

### 【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)

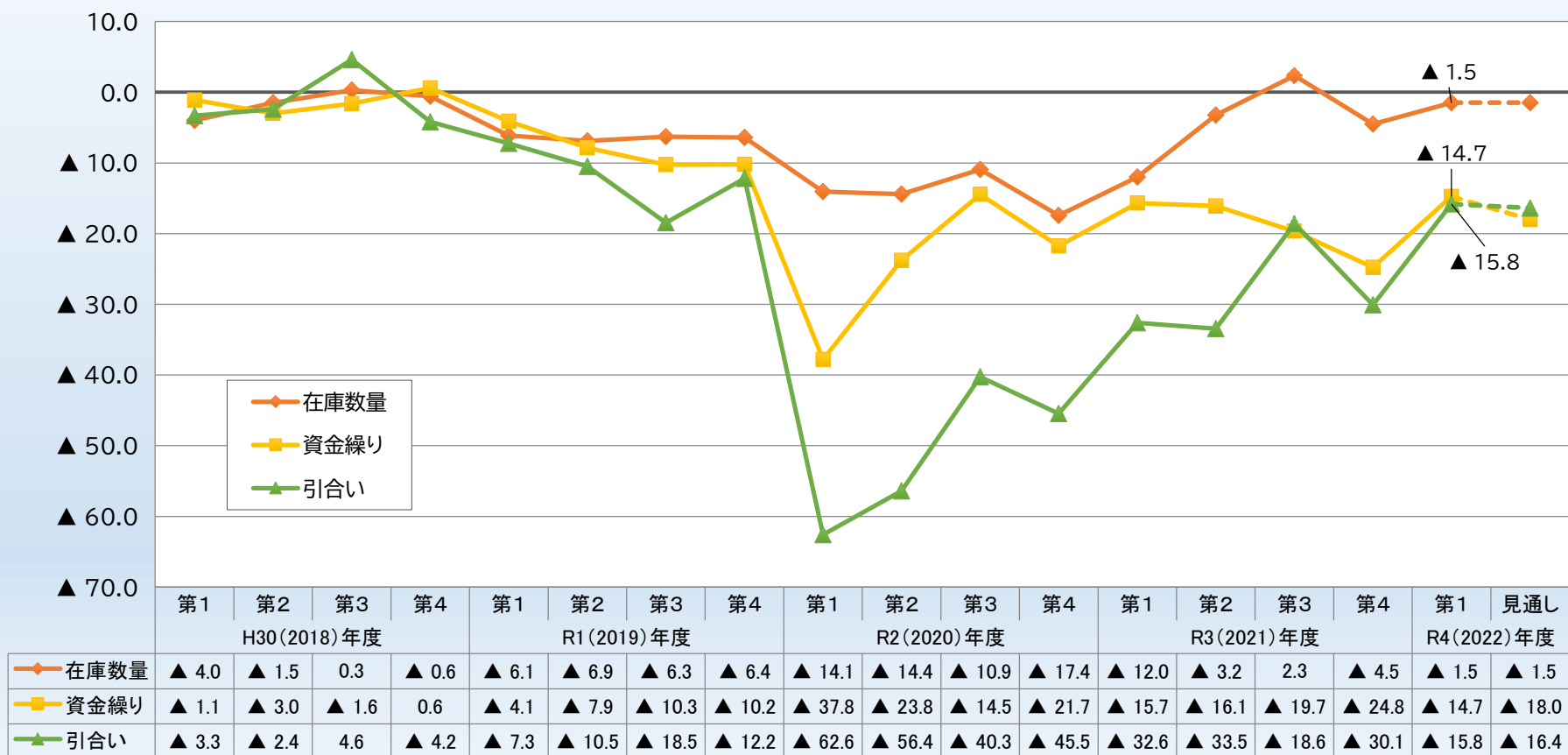


	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
業況	▲ 1.7	▲ 6.7	0.2	▲ 8.4	▲ 17.3	▲ 20.7	▲ 26.0	▲ 23.2	▲ 69.4	▲ 66.5	▲ 53.4	▲ 52.7	▲ 31.8	▲ 25.0	▲ 15.6	▲ 25.4	▲ 8.8	▲ 11.2
生産	7.7	▲ 2.5	7.2	▲ 9.1	▲ 21.1	▲ 34.2	▲ 26.3	▲ 31.3	▲ 68.4	▲ 66.7	▲ 64.8	▲ 59.6	▲ 22.0	▲ 1.8	7.8	▲ 8.0	▲ 10.1	0.0
売上	3.1	▲ 6.2	5.3	▲ 7.7	▲ 14.9	▲ 24.3	▲ 26.5	▲ 23.4	▲ 71.8	▲ 66.2	▲ 59.3	▲ 51.7	▲ 27.2	▲ 20.3	▲ 19.9	▲ 24.0	▲ 2.7	▲ 7.0
経常利益	▲ 2.1	▲ 11.5	▲ 6.5	▲ 11.9	▲ 19.8	▲ 28.0	▲ 29.5	▲ 25.4	▲ 68.4	▲ 68.6	▲ 55.1	▲ 51.0	▲ 29.8	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 11.1	▲ 4.3	▲ 5.6

【業況】	今期: ▲8.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲11.2とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲10.1とマイナス幅が拡大した。	来期: 0.0とマイナスが縮小する見通し。
【売上】	今期: ▲2.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲7.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: ▲4.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲5.6とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    **3. 規模別**    4. 業種別    5. 追加設問

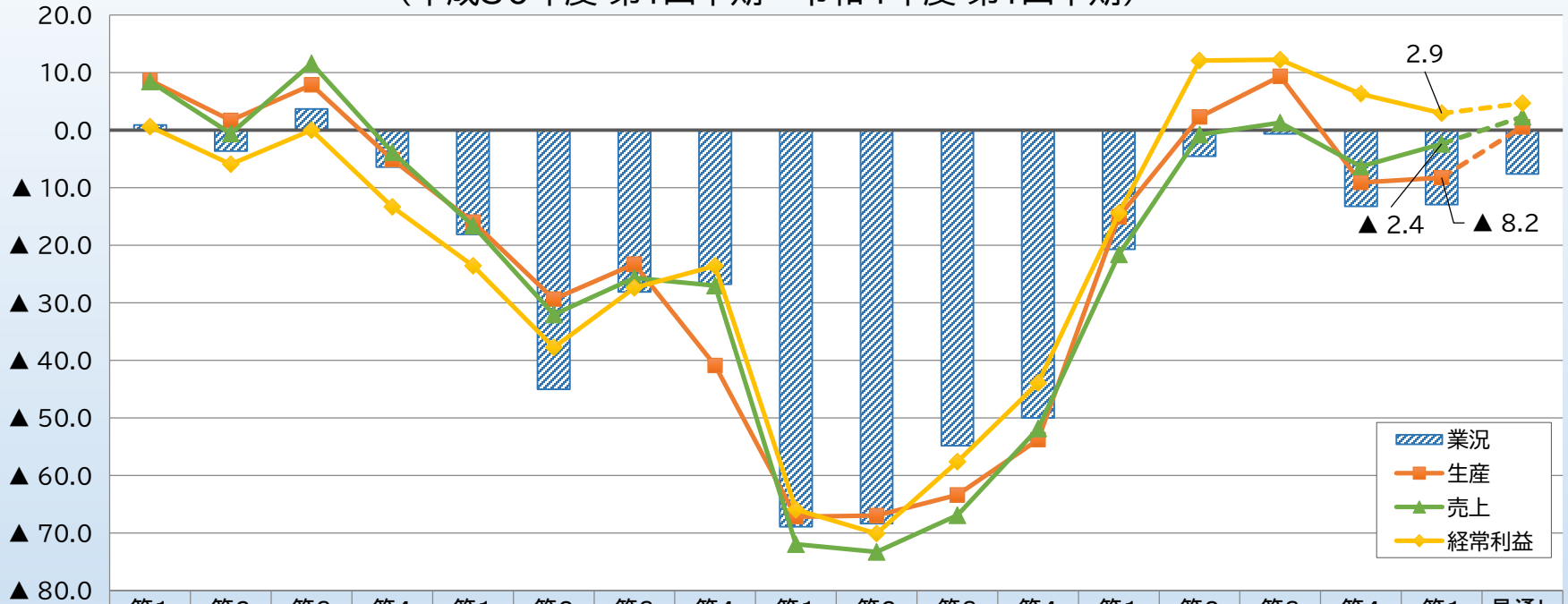
## 【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



【在庫数量】	今期: ▲1.5とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲1.5と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期: ▲14.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲18.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲15.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.4とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)

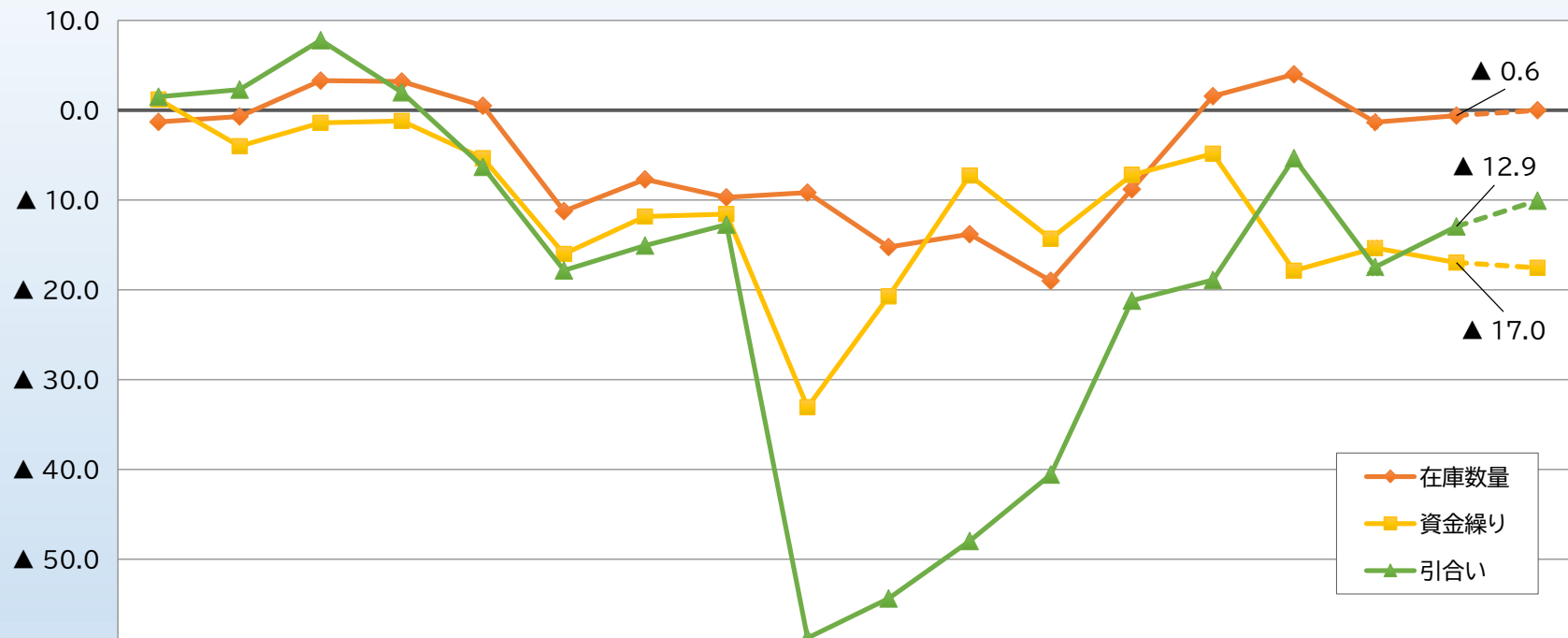


	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
業況	0.9	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.1	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 7.6
生産	8.7	1.7	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	0.6
売上	8.5	▲ 0.6	11.6	▲ 3.8	▲ 16.6	▲ 32.0	▲ 25.7	▲ 27.0	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	2.3
経常利益	0.6	▲ 5.9	0.0	▲ 13.3	▲ 23.6	▲ 37.8	▲ 27.4	▲ 23.6	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.7

【業況】	今期: ▲12.9とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲7.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲8.2とマイナス幅が縮小した。	来期: +0.6とプラスに転じる見通し。
【売上】	今期: ▲2.4とマイナス幅が縮小した。	来期: +2.3とプラスに転じる見通し。
【経常利益】	今期: +2.9とプラス幅が縮小した。	来期: +4.7とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)

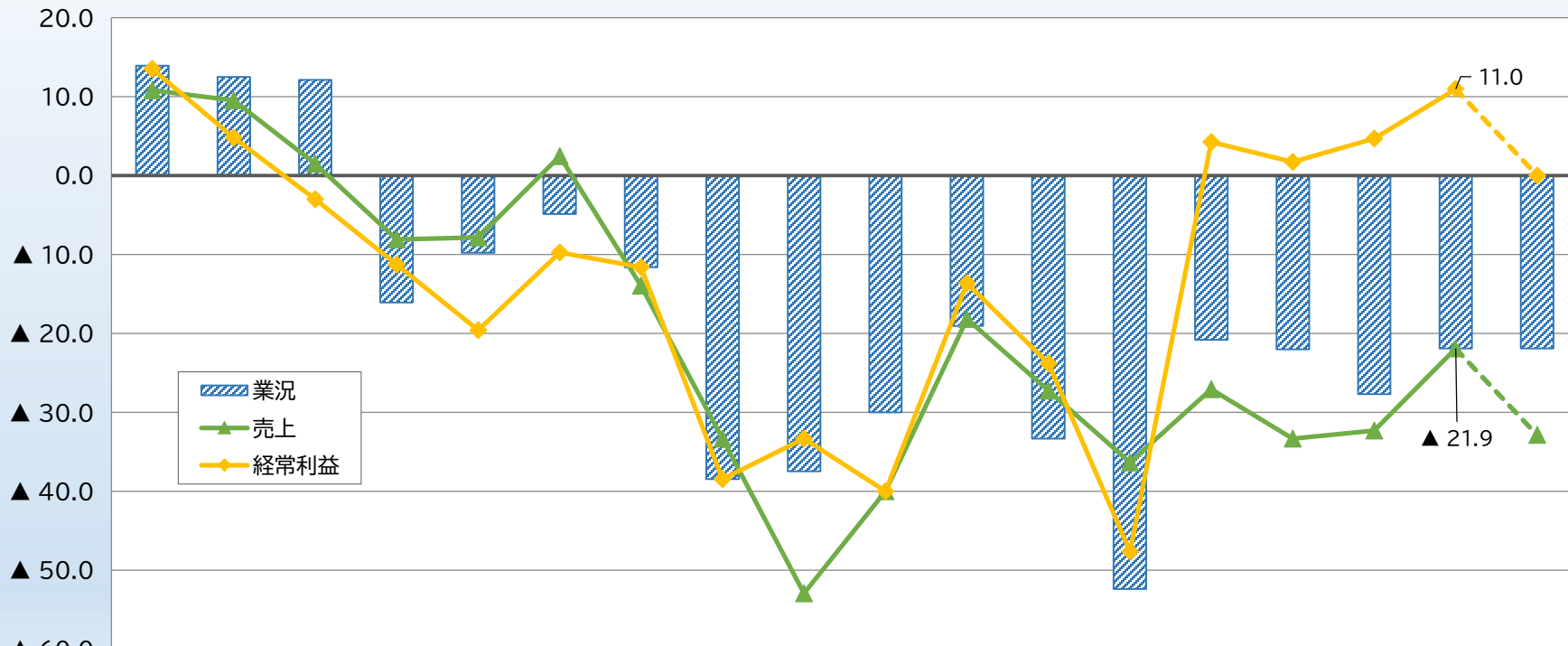


	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
在庫数量	▲ 1.3	▲ 0.7	3.3	3.2	0.5	▲ 11.2	▲ 7.7	▲ 9.7	▲ 9.2	▲ 15.2	▲ 13.8	▲ 19.0	▲ 8.8	1.6	4.0	▲ 1.3	▲ 0.6	0.0
資金繰り	1.2	▲ 4.0	▲ 1.4	▲ 1.2	▲ 5.3	▲ 16.0	▲ 11.8	▲ 11.6	▲ 33.1	▲ 20.7	▲ 7.3	▲ 14.3	▲ 7.2	▲ 4.8	▲ 17.9	▲ 15.3	▲ 17.0	▲ 17.5
引合い	1.5	2.3	7.8	2.0	▲ 6.3	▲ 17.8	▲ 15.1	▲ 12.7	▲ 58.8	▲ 54.4	▲ 48.0	▲ 40.6	▲ 21.2	▲ 18.9	▲ 5.3	▲ 17.4	▲ 12.9	▲ 10.1

【在庫数量】	今期:▲0.6とマイナス幅が縮小した。	来期:0.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期:▲17.0とマイナス幅が拡大した。	来期:▲17.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期:▲12.9とマイナス幅が縮小した。	来期:▲10.1とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



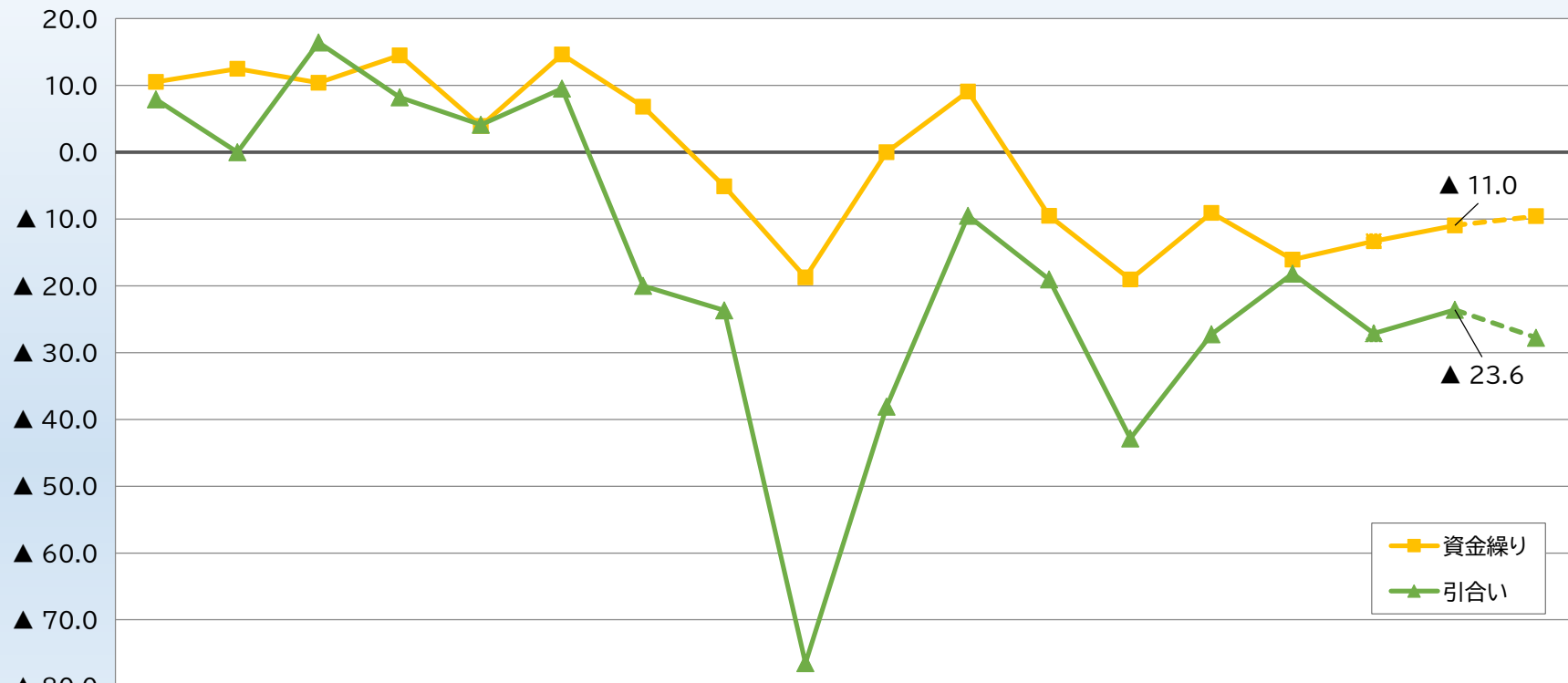
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
業況	13.9	12.5	12.1	▲16.1	▲9.8	▲4.9	▲11.6	▲38.5	▲37.5	▲30.0	▲19.0	▲33.3	▲52.4	▲20.8	▲22.0	▲27.7	▲21.9	▲21.9
売上	10.8	9.5	1.5	▲8.1	▲7.8	2.4	▲14.0	▲33.3	▲52.9	▲40.0	▲18.2	▲27.3	▲36.4	▲27.1	▲33.3	▲32.3	▲21.9	▲32.9
経常利益	13.5	4.8	▲3.0	▲11.3	▲19.6	▲9.8	▲11.6	▲38.5	▲33.3	▲40.0	▲13.6	▲23.8	▲47.6	4.3	1.7	4.7	11.0	0.0

【業況】	今期:▲21.9とマイナス幅が縮小した。	来期:▲21.9と同水準の見通し。
【売上】	今期:▲21.9とマイナス幅が縮小した。	来期:▲32.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期:+11.0とプラス幅が拡大した。	来期:0.0とプラス幅が縮小する見通し。



1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)

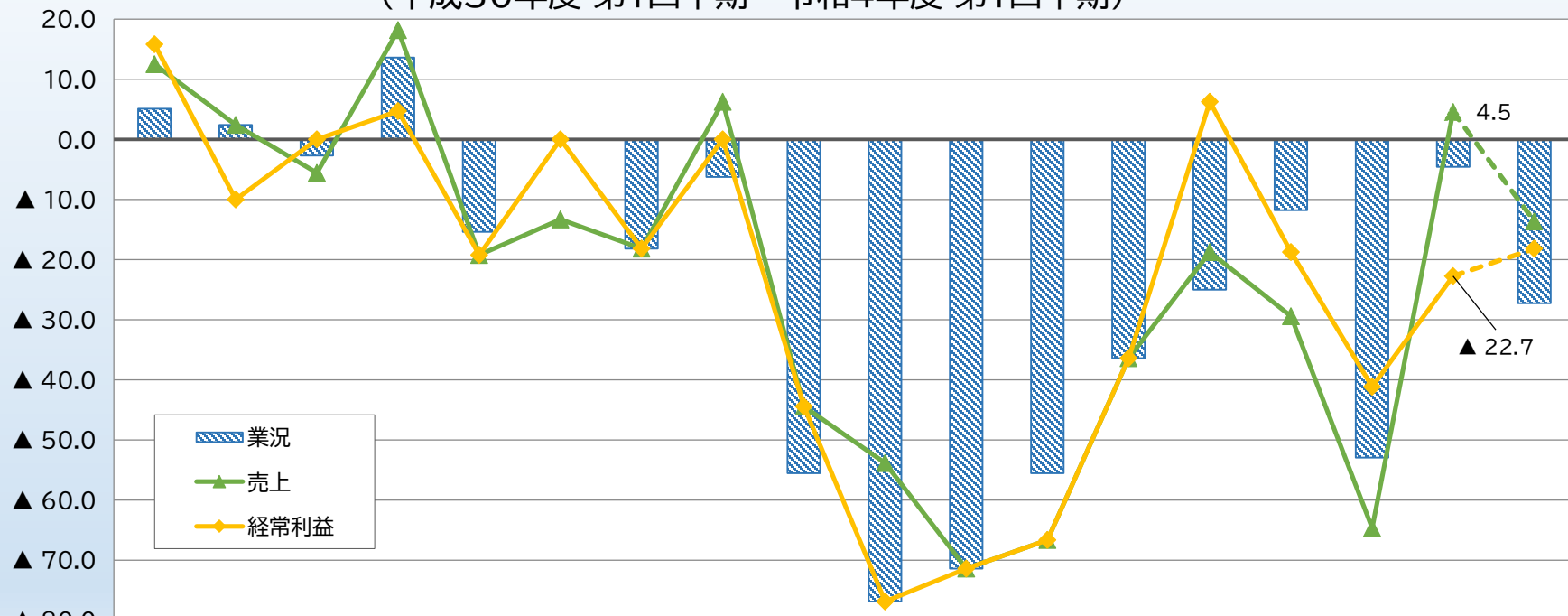


	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
■ 資金繰り	10.5	12.5	10.4	14.5	3.9	14.6	6.8	▲ 5.1	▲ 18.8	0.0	9.1	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 16.1	▲ 13.3	▲ 11.0	▲ 9.6
▲ 引合い	7.9	0.0	16.4	8.2	4.1	9.5	▲ 20.0	▲ 23.7	▲ 76.5	▲ 38.1	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 42.9	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 27.1	▲ 23.6	▲ 27.8

【資金繰り】	今期: ▲11.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲9.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲23.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲27.8とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)

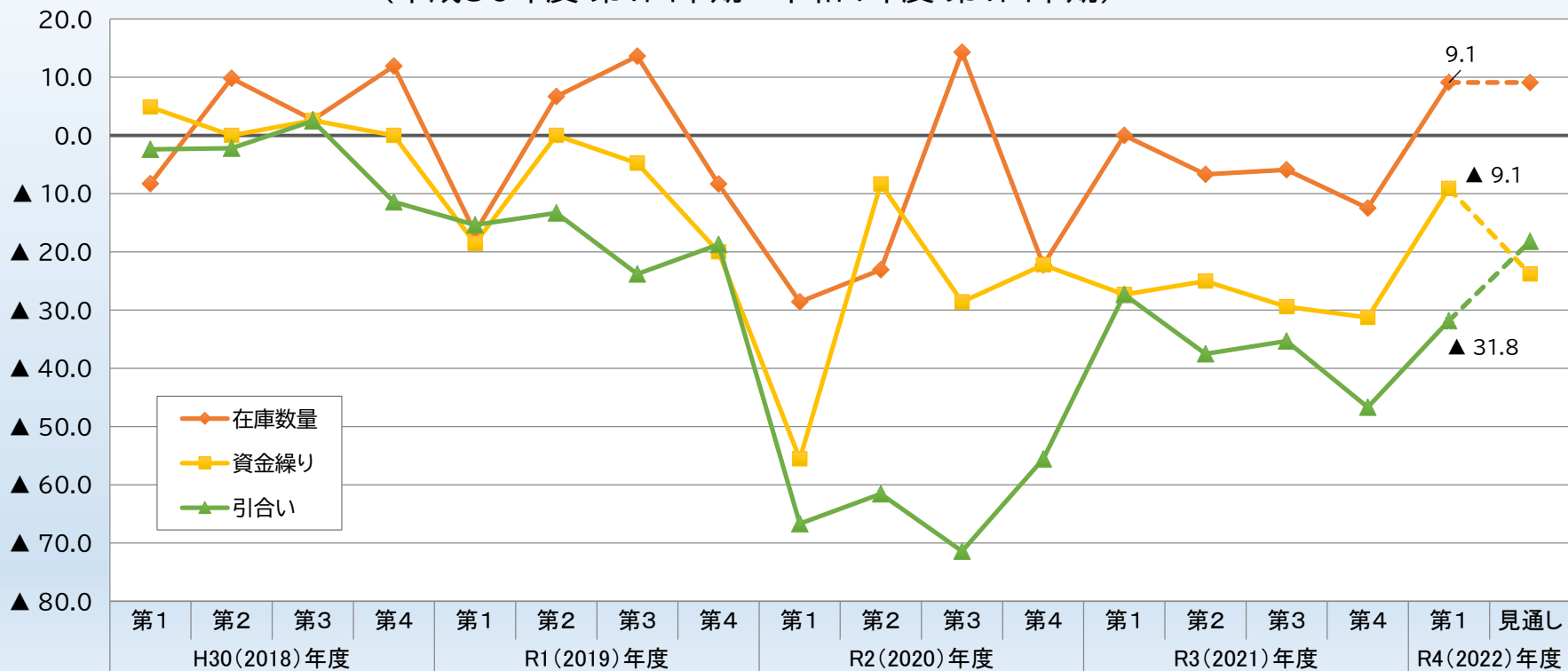


	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
業況	5.1	2.4	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 27.3
売上	12.5	2.4	▲ 5.6	18.2	▲ 19.2	▲ 13.3	▲ 18.2	6.3	▲ 44.4	▲ 53.8	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 64.7	4.5	▲ 13.6
経常利益	15.8	▲ 10.0	0.0	4.7	▲ 19.2	0.0	▲ 18.2	0.0	▲ 44.4	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	6.3	▲ 18.8	▲ 41.2	▲ 22.7	▲ 18.2

【業況】	今期:▲4.5とマイナス幅が縮小した。	来期:▲27.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期:+4.5とプラスに転じた。	来期:▲13.6とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期:▲22.7とマイナス幅が縮小した。	来期:▲18.2とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

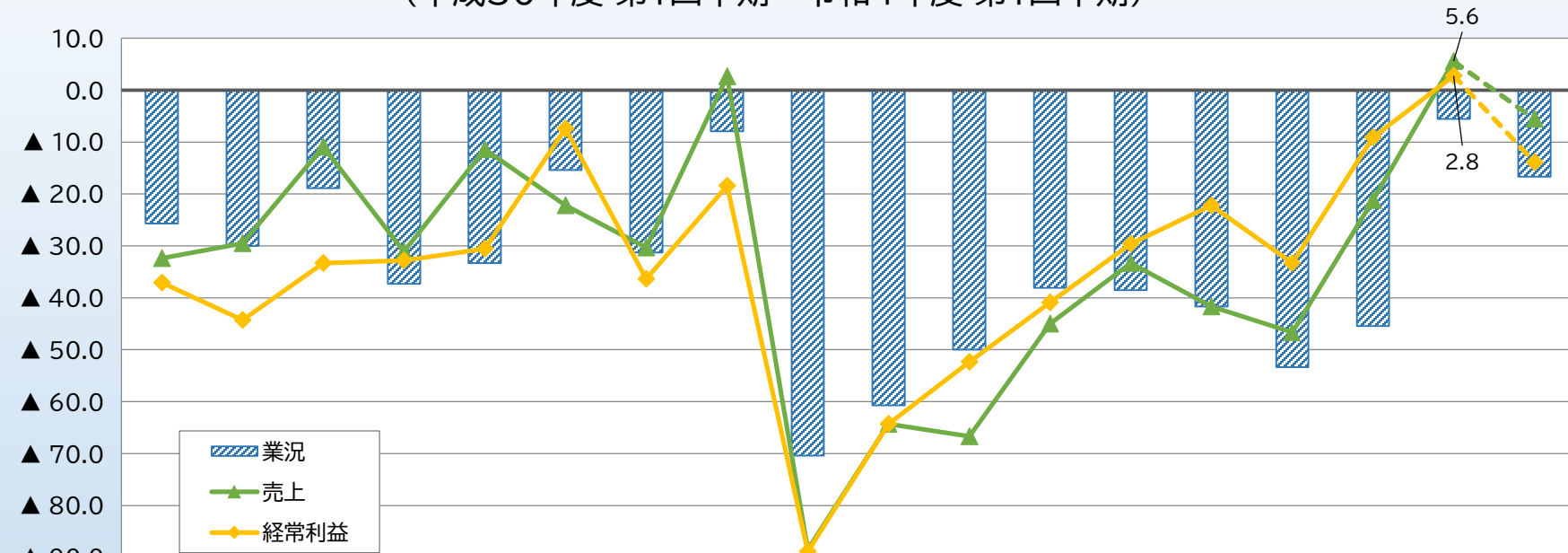
## 【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



【在庫数量】	今期: +9.1とプラスに転じた。	来期: +9.1と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期: ▲9.1とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲23.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲31.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲18.2とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)

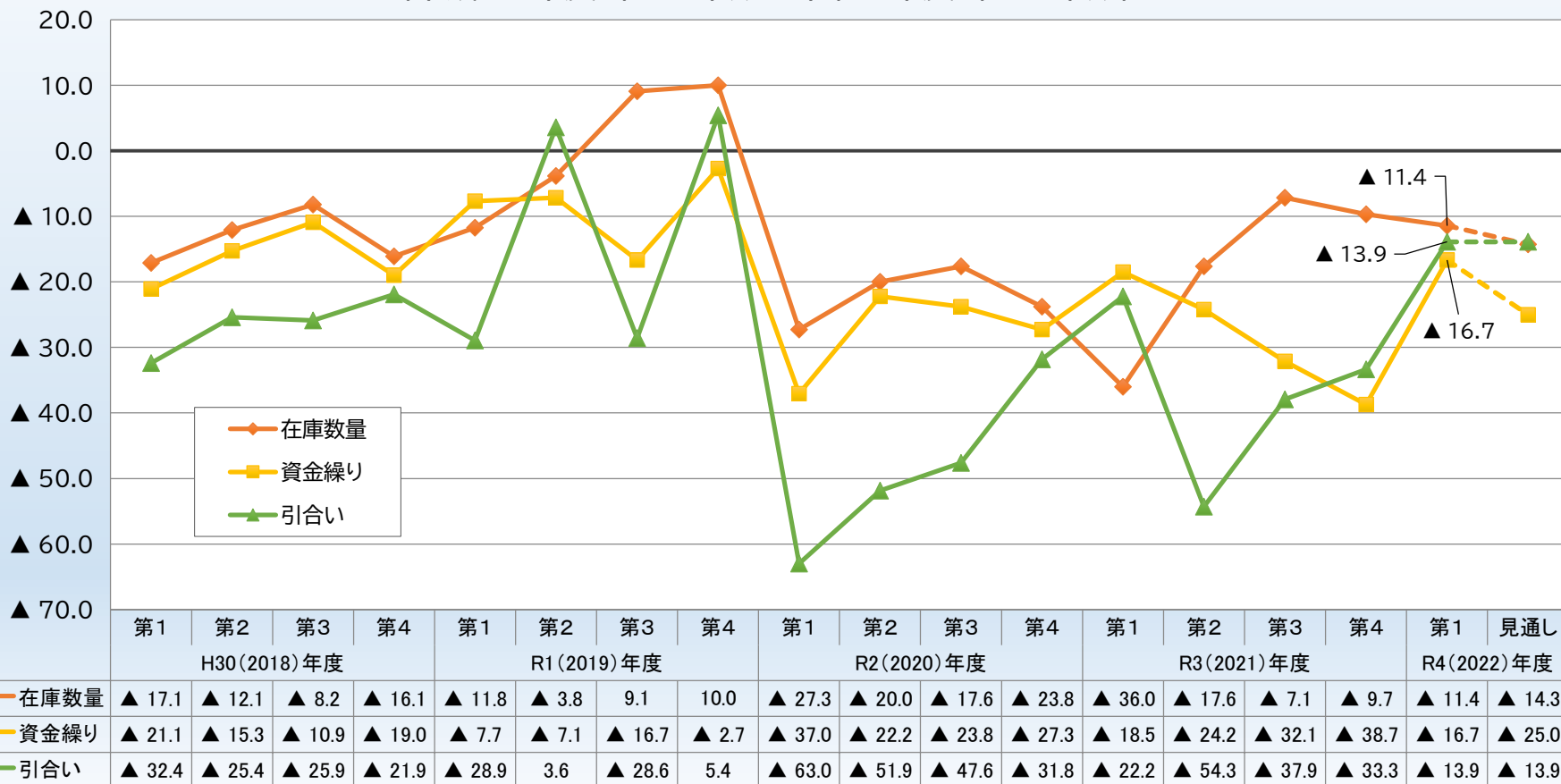


	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
業況	▲ 25.7	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 16.7
売上	▲ 32.4	▲ 29.5	▲ 10.9	▲ 31.1	▲ 11.4	▲ 22.2	▲ 30.3	2.6	▲ 88.5	▲ 64.3	▲ 66.7	▲ 45.0	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 46.7	▲ 21.2	5.6	▲ 5.6
経常利益	▲ 37.1	▲ 44.3	▲ 33.3	▲ 32.8	▲ 30.6	▲ 7.4	▲ 36.4	▲ 18.4	▲ 88.9	▲ 64.3	▲ 52.4	▲ 40.9	▲ 29.6	▲ 22.2	▲ 33.3	▲ 9.1	2.8	▲ 13.9

【業況】	今期: ▲5.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +5.6とプラスに転じた。	来期: ▲5.6とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期: +2.8とプラスに転じた。	来期: ▲13.9とマイナスに転じる見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

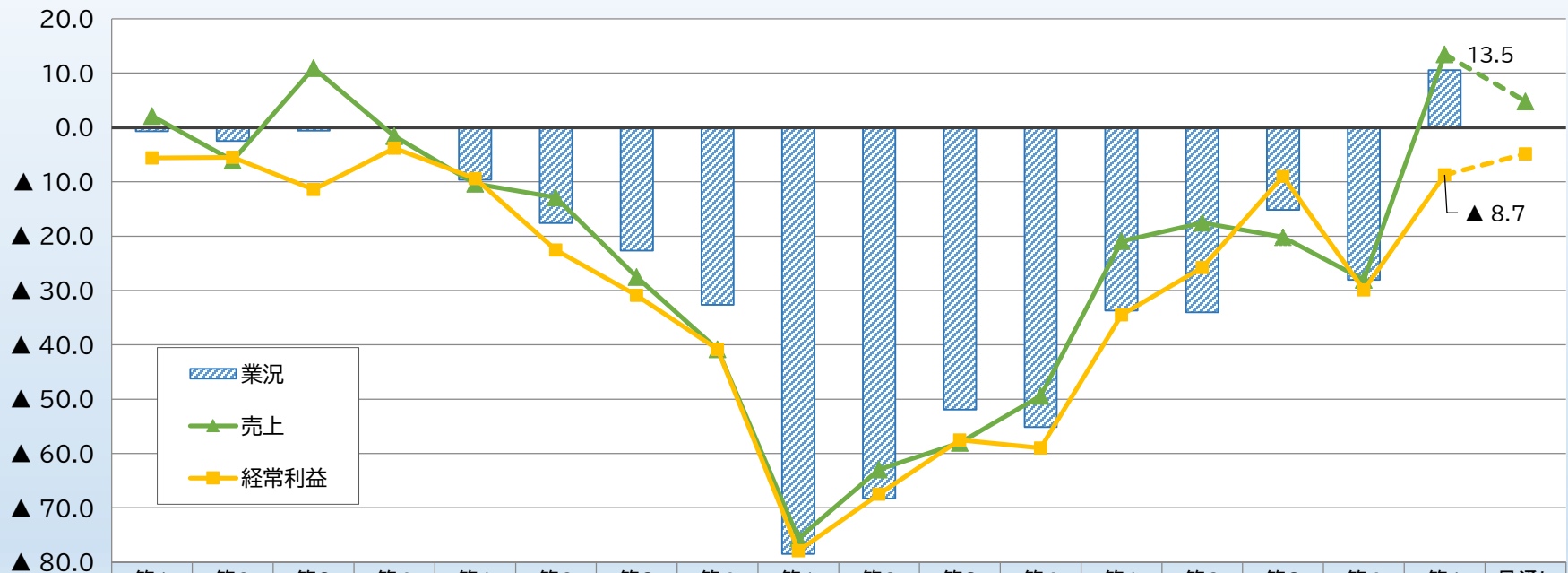
## 【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



【在庫数量】	今期: ▲11.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲14.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲16.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲25.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲13.9とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲13.9と同水準の見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)

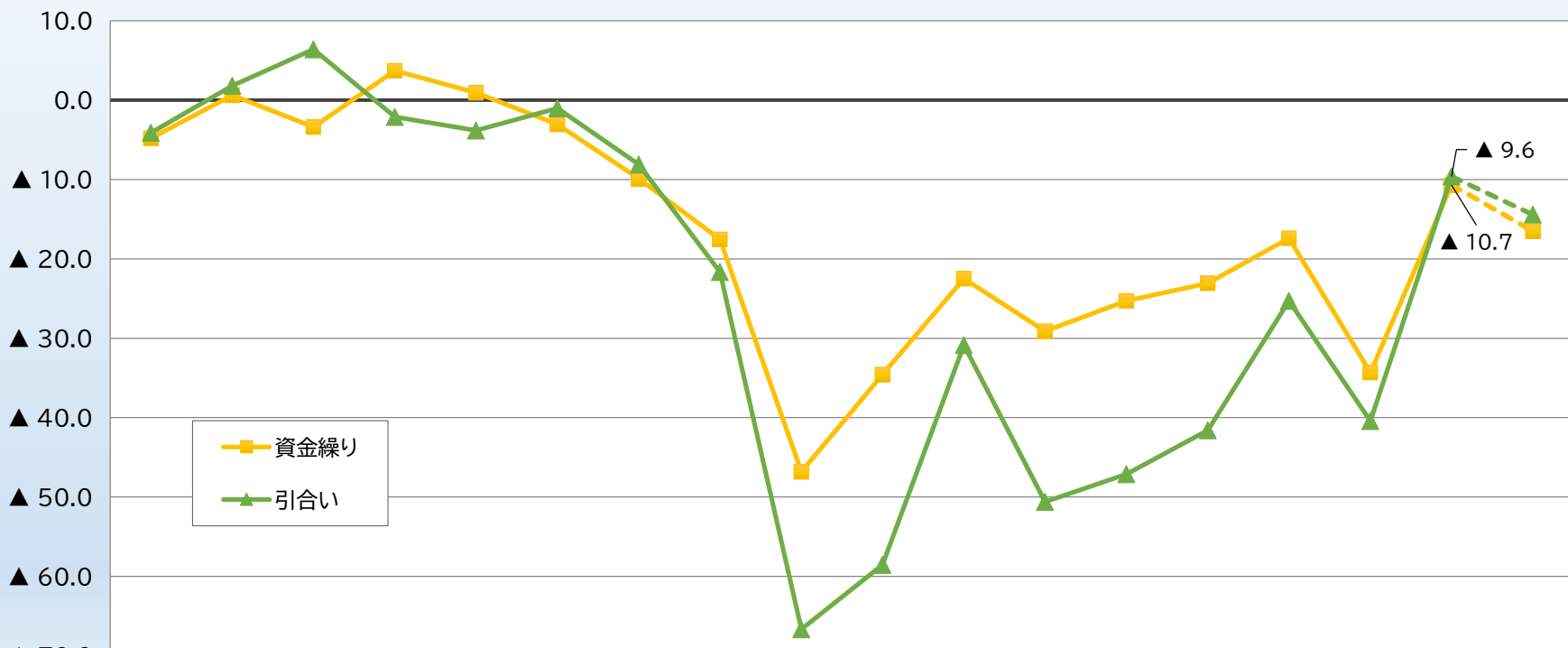


	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	見通し
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
業況	▲ 0.7	▲ 2.5	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	0.0
売上	2.1	▲ 6.1	10.9	▲ 1.6	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 27.5	▲ 40.8	▲ 75.6	▲ 63.0	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 28.0	13.5	4.8
経常利益	▲ 5.6	▲ 5.5	▲ 11.4	▲ 3.8	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 30.9	▲ 40.8	▲ 77.9	▲ 67.5	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 8.7	▲ 4.9

【業況】	今期: +10.6とプラスに転じた。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: +13.5とプラスに転じた。	来期: +4.8とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: ▲8.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲4.9とマイナス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

## 【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第1四半期～令和4年度 第1四半期)



	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度	
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	見通し
■ 資金繰り	▲ 4.8	0.6	▲ 3.4	3.7	1.0	▲ 3.1	▲ 9.9	▲ 17.5	▲ 46.8	▲ 34.6	▲ 22.5	▲ 29.1	▲ 25.3	▲ 23.1	▲ 17.4	▲ 34.3	▲ 10.7	▲ 16.5
▲ 引合い	▲ 4.1	1.8	6.4	▲ 2.1	▲ 3.8	▲ 1.0	▲ 8.1	▲ 21.6	▲ 66.7	▲ 58.5	▲ 30.9	▲ 50.6	▲ 47.1	▲ 41.6	▲ 25.3	▲ 40.4	▲ 9.6	▲ 14.4

【資金繰り】	今期: ▲10.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲9.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.4とマイナス幅が拡大する見通し。



# 景況調査結果報告書(令和4年度 第1四半期)

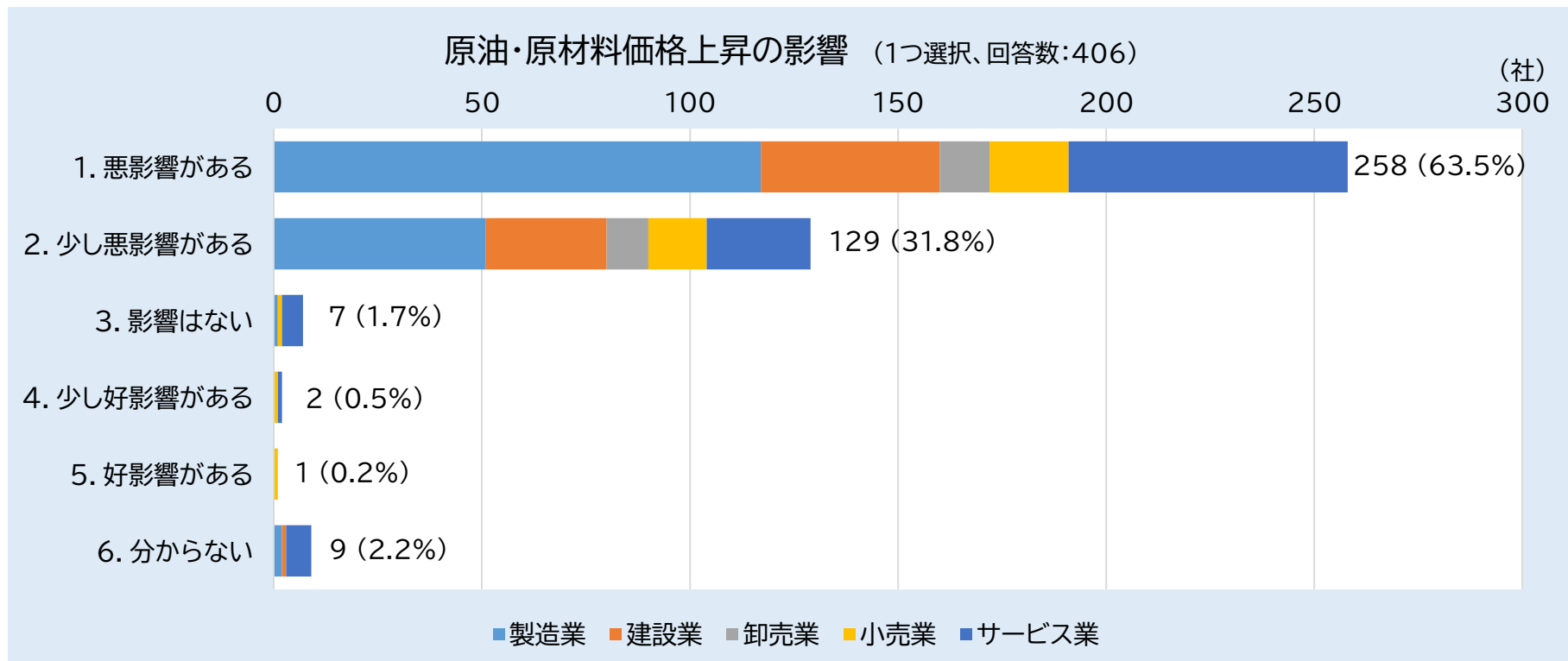


1. 調査概要    2. 全体    3. 規模別    **4. 業種別**    5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	コロナ禍で客数が伸びない中、アルバイトが離れてしまい、再度確保していくのが難しい状況である。時給を上げて募集をかけている為、集まったとしても物価高も重なり値上げをせざるを得ない。	サービス業
	現状販売用の在庫については、何とかなっているが、中国ロックダウンの影響により、納期遅れ、品不足を予想。今後の生産状況を見守る。	小売業
	来期(7~9月)、原材料高騰の影響が出てくる。売価の価格修正ができるかがキーポイントになる。	製造業
	中国のロックダウンの影響で機器製造メーカーの在庫不足で、工事案件の見積もり及び受注が難しい状況が続いている。	建設業
不変	コロナ・部品不足による生産減の影響が続いており、見通しが立たない。	製造業
	国内の車の減産で得意先の生産稼働状況が読み辛く、売上が計算できない。	卸売業
	売上額は変わらないが、材料費高騰で徐々に苦しくなると思う。	建設業
	材料やエネルギーの高騰により、利益が圧縮されるのが心配。	製造業
	売上を前期程度に努力しても経費が大きくなっている為厳しい状況である。	サービス業
悪化	水産原料の価格上昇や副原材料・資材においてすべて値上げ、特に油は2年前の倍に高騰しており、その値上げ分を商品に転嫁しきれない。	製造業
	半導体不足により生産・売上ともに減少。	製造業
	販売価格の高騰の悪影響が夏場にかけて出てきそうで、資金繰りも厳しくなりそうだ。	小売業
	原材料の高騰により、安価材料への需要の移行に伴い、悪化する見込み。	サービス業
	原材料の高騰、過当競争による利益減少。	建設業

## 原油・原材料価格上昇の影響(全体)

- 原油・原材料価格上昇の影響について尋ねたところ、「悪影響がある」が最も多かった。
- 「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、全体の約95%に上った。



(端数の四捨五入により各項目の合計が100%とならない場合がある)

1. 調査概要

2. 全体

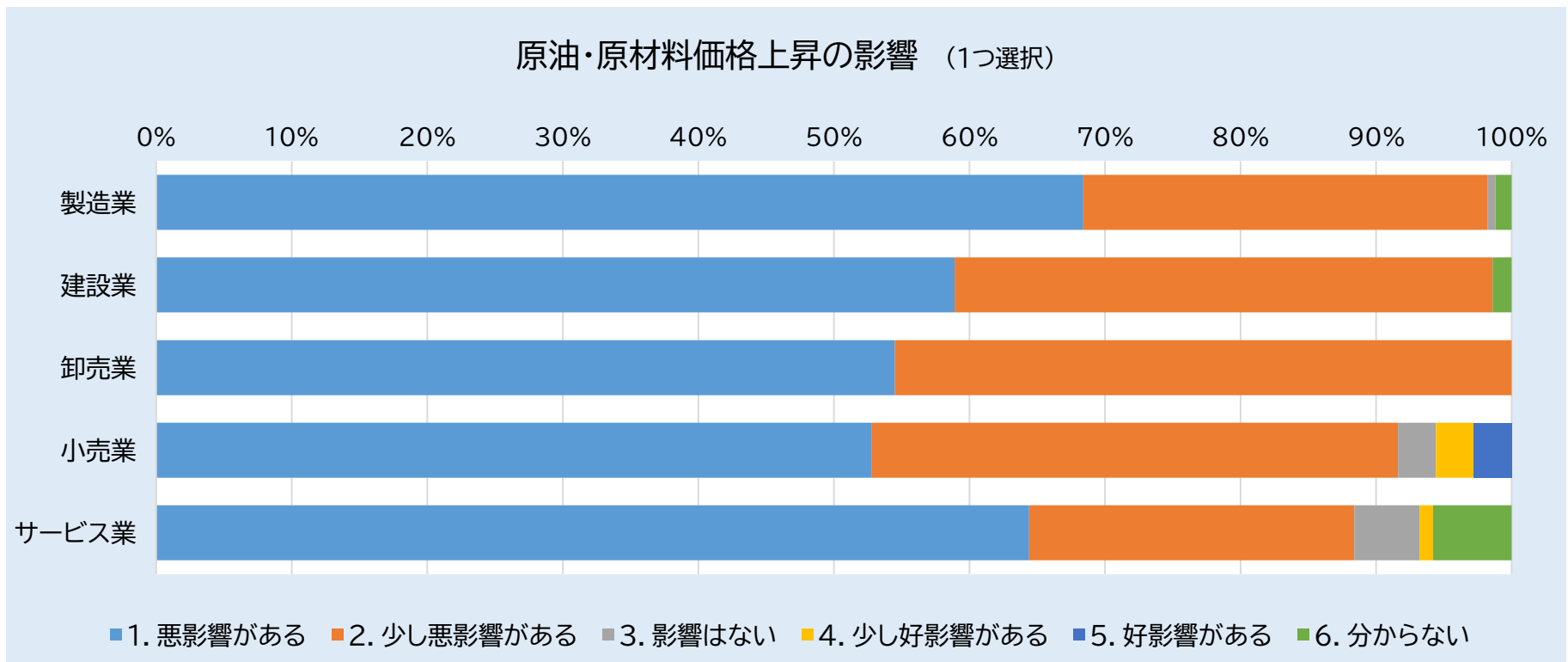
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 原油・原材料価格上昇の影響(業種別)

- 原油・原材料価格上昇の影響について業種別にみると、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、サービス業では90%近く、その他の業種では90%超を占めた。
- 製造業とサービス業は、「悪影響がある」が60%を超えた。



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

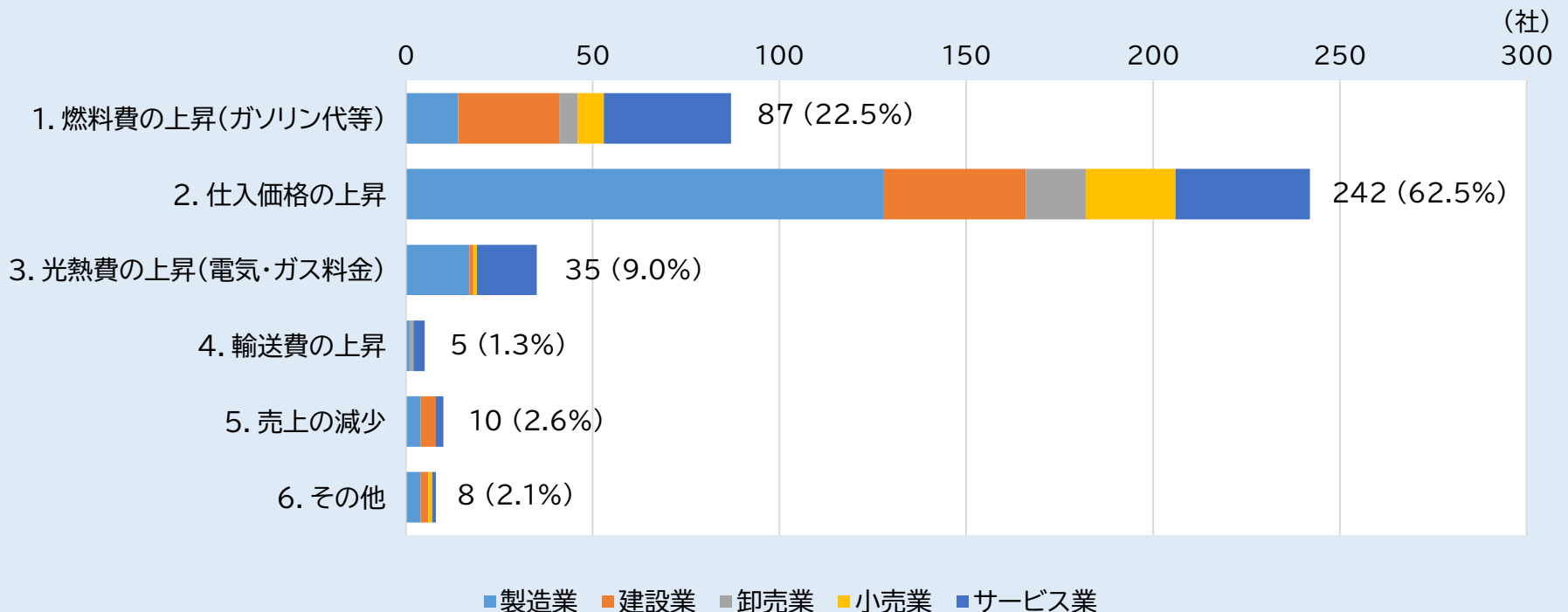
4. 業種別

5. 追加設問

## 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容(全体)

- 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容を尋ねたところ、「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 次いで「燃料費(ガソリン代等)の上昇」、「光熱費(電気・ガス料金)の上昇」の順に多かった。

原油・原材料価格上昇の悪影響の内容 (1つ選択、回答数:387)



(端数の四捨五入により各項目の合計が100%とならない場合がある)

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

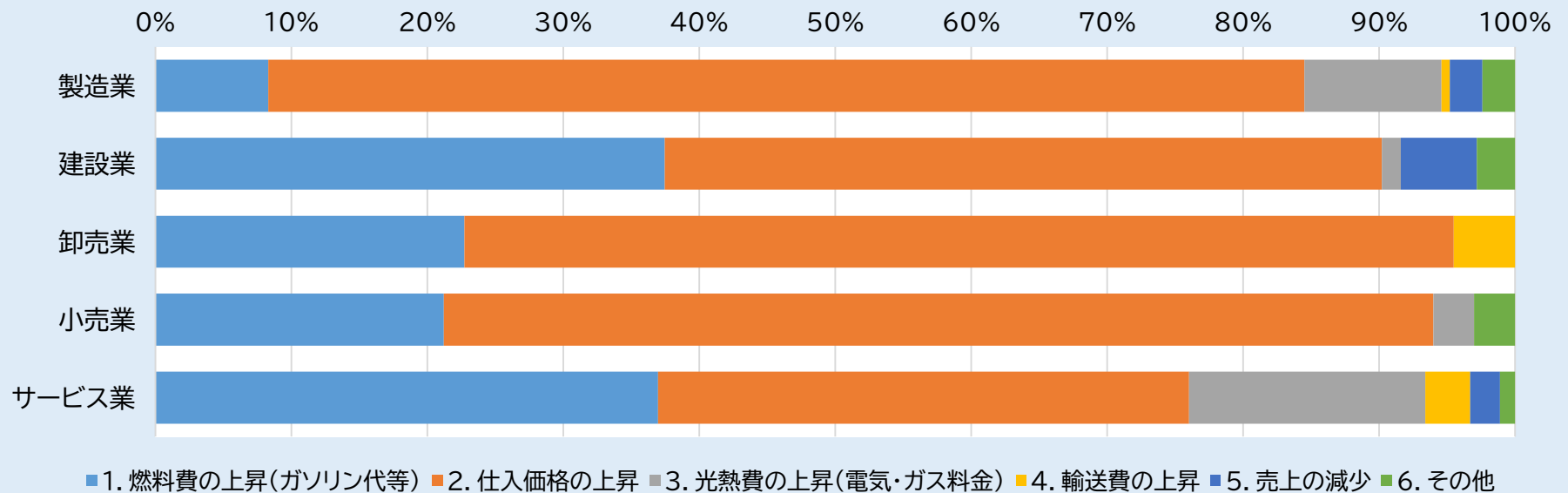
4. 業種別

5. 追加設問

## 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容(業種別)

- 原油・原材料価格上昇の悪影響の内容について業種別にみると、すべての業種で「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 建設業とサービス業は、他の業種に比べて「燃料費(ガソリン代等)の上昇」の割合が大きかった。
- サービス業では、他の業種に比べて「光熱費(電気・ガス料金)」の割合が大きかった。

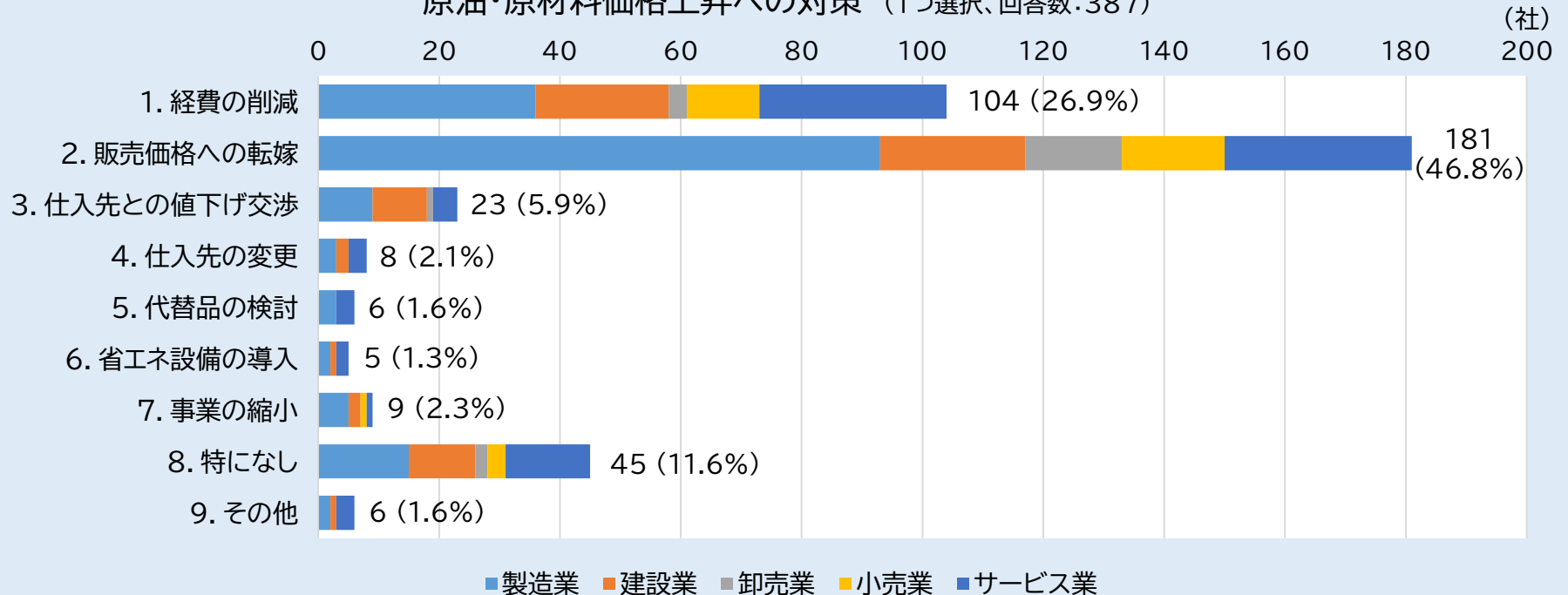
原油・原材料価格上昇の悪影響の内容 (1つ選択)



## 原油・原材料価格上昇への対策(全体)

- 原油・原材料価格上昇への対策を尋ねたところ、「販売価格への転嫁」が最も多かった。
- 次いで「経費の削減」、「特になし」の順に多かった。

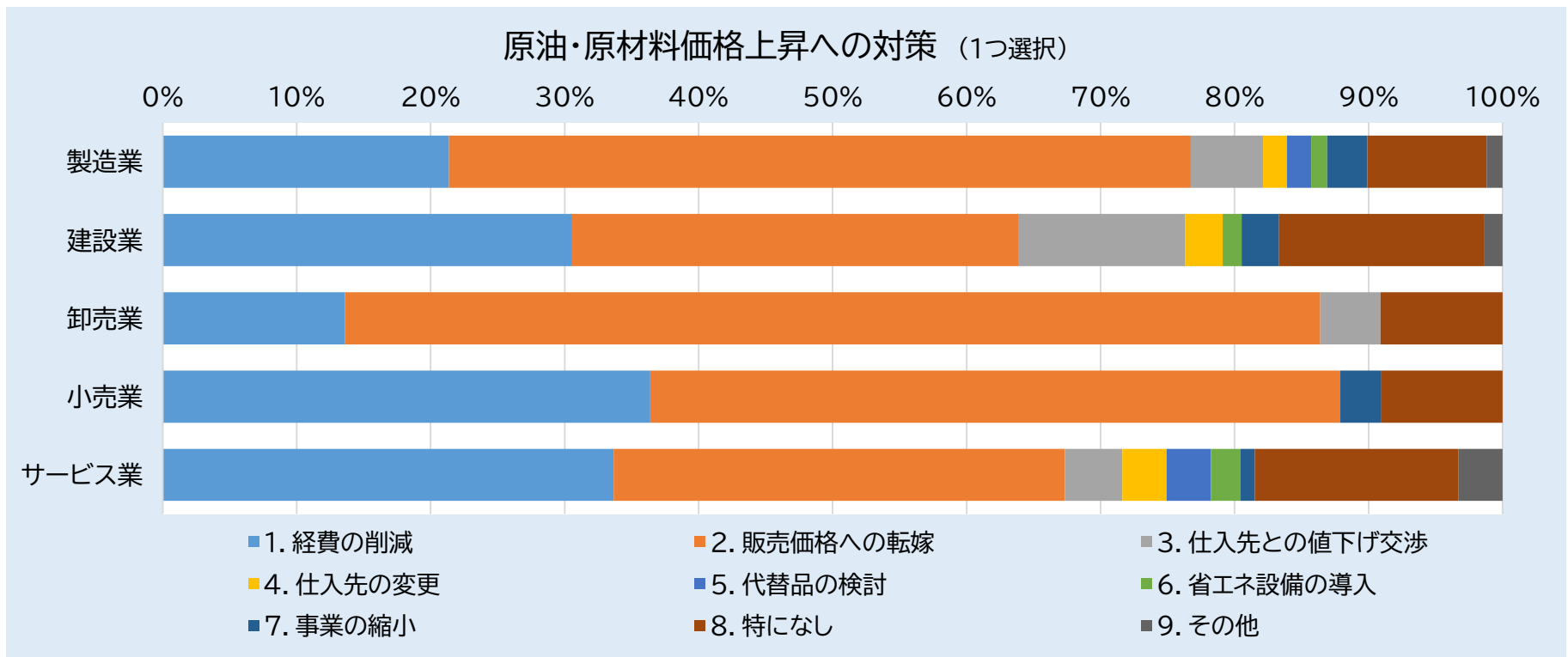
原油・原材料価格上昇への対策 (1つ選択、回答数:387)



(端数の四捨五入により各項目の合計が100%とならない場合がある)

## 原油・原材料価格上昇への対策(業種別)

- 原油・原材料価格上昇への対策について業種別にみると、すべての業種で「販売価格への転嫁」が最も多かった。
- サービス業は、「経費の削減」が「販売価格への転嫁」と同数であった。





1. 調査概要

2. 全体

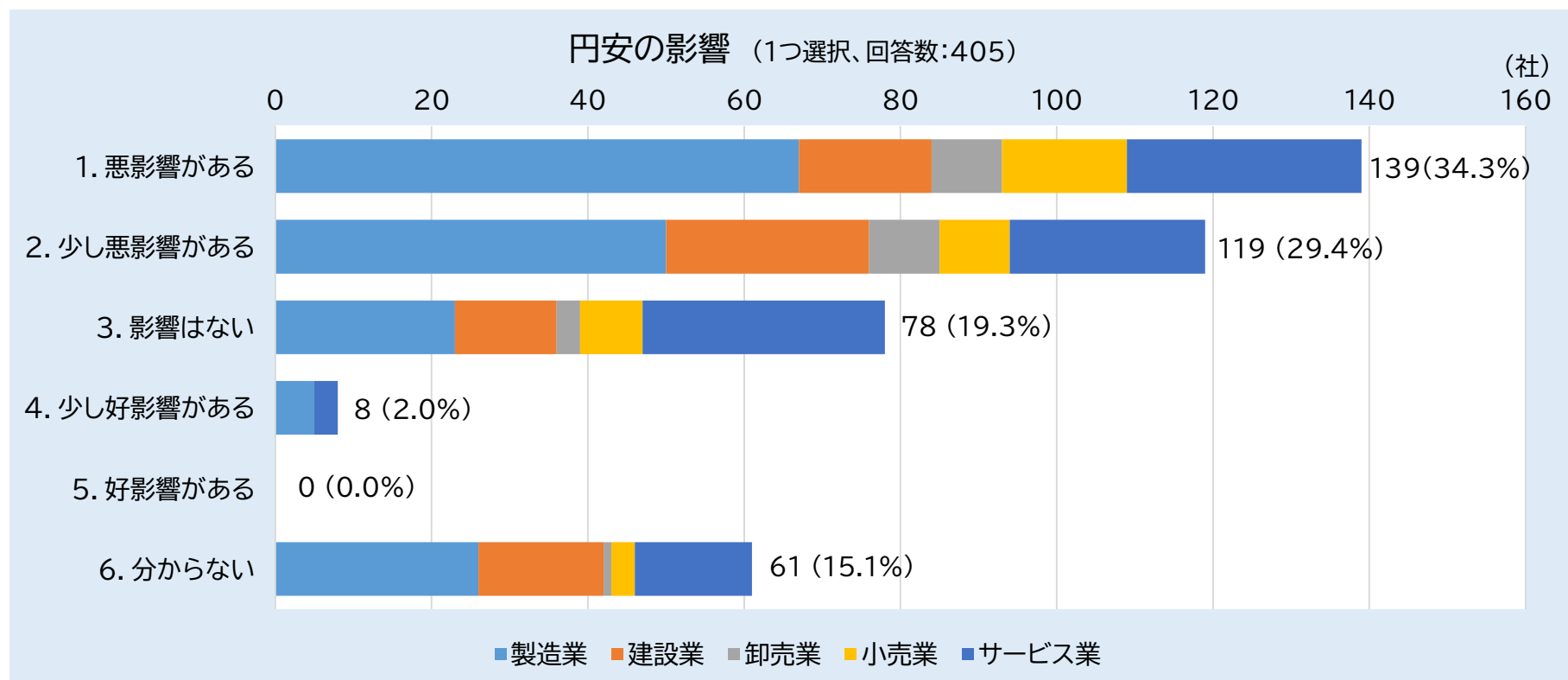
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 円安の影響(全体)

- 円安の影響について尋ねたところ、「悪影響がある」が最も多かった。
- 「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計は、全体の約3分の2を占めた。



(端数の四捨五入により各項目の合計が100%とならない場合がある)

1. 調査概要

2. 全体

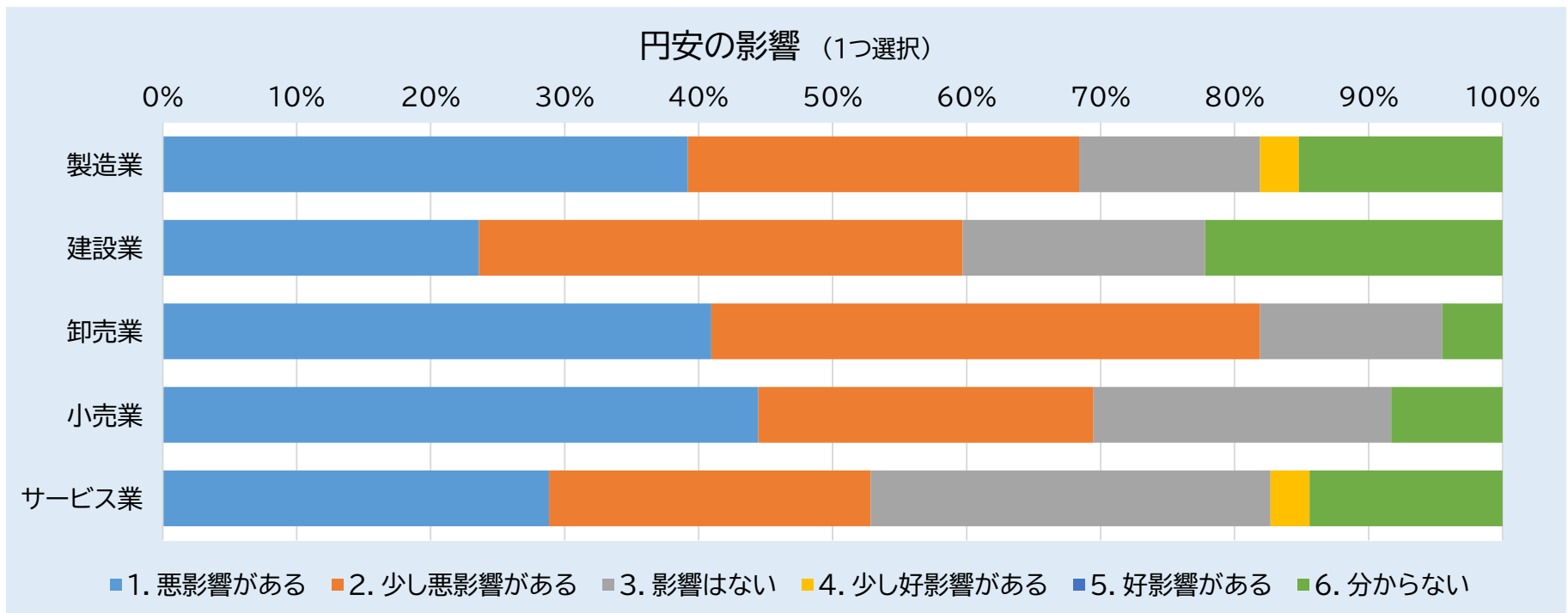
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 円安の影響(業種別)

- 円安の影響について業種別にみると、建設業は「少し悪影響がある」が最も多く、製造業・小売業・サービス業は「悪影響がある」が最も多かった。卸売業は「悪影響がある」と「少し悪影響がある」が同数であった。
- いずれの業種も、「悪影響がある」と「少し悪影響がある」の合計が過半数を占めた。



1. 調査概要

2. 全体

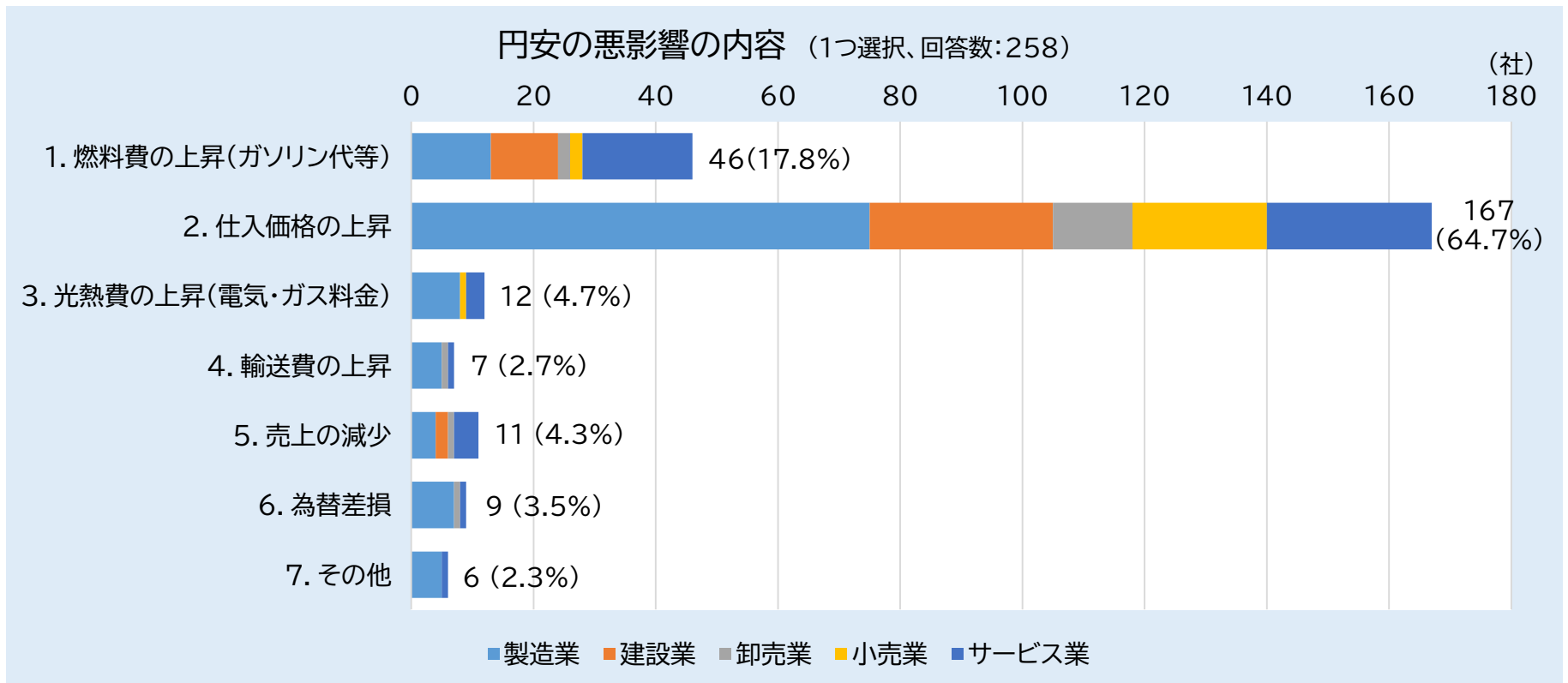
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

## 円安の悪影響の内容(全体)

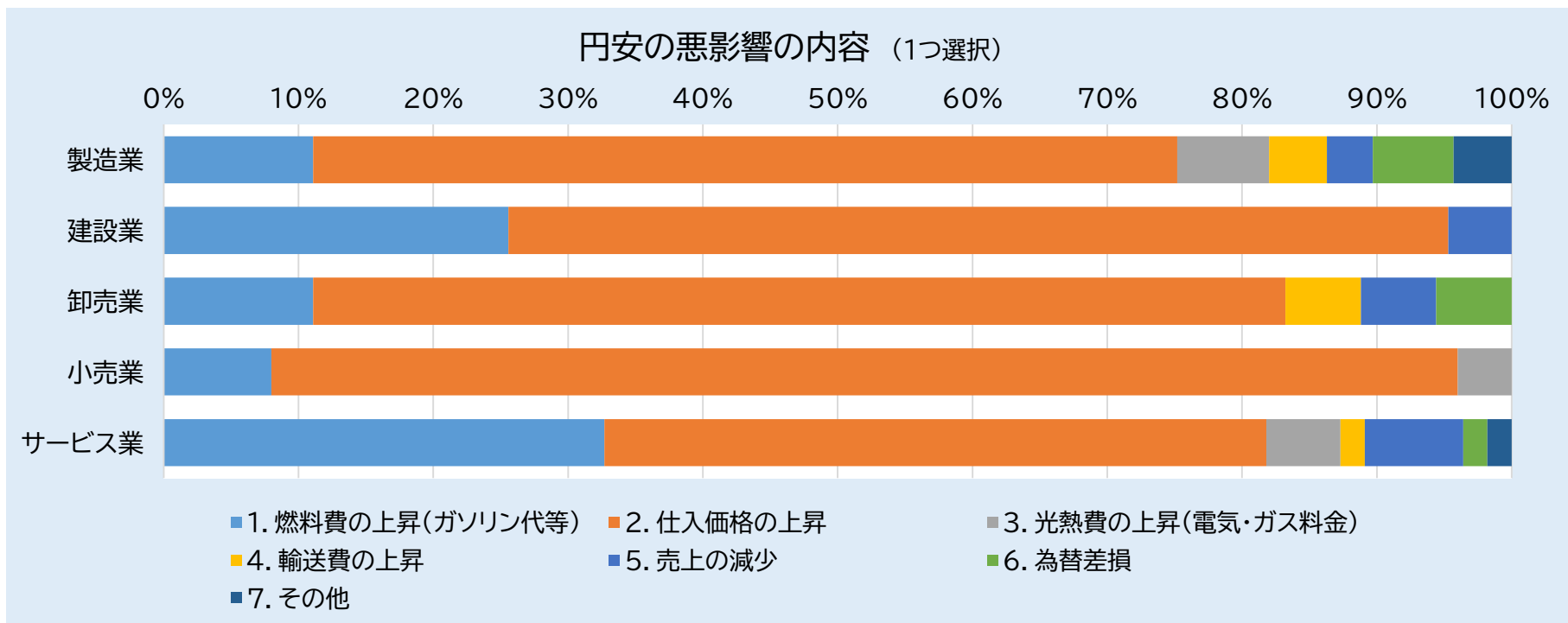
- 円安の悪影響の内容について尋ねたところ、「仕入価格の上昇」が最も多かった。
- 次いで「燃料費(ガソリン代等)の上昇」、「光熱費(電気・ガス料金)の上昇」の順に多かった。



(端数の四捨五入により各項目の合計が100%とならない場合がある)

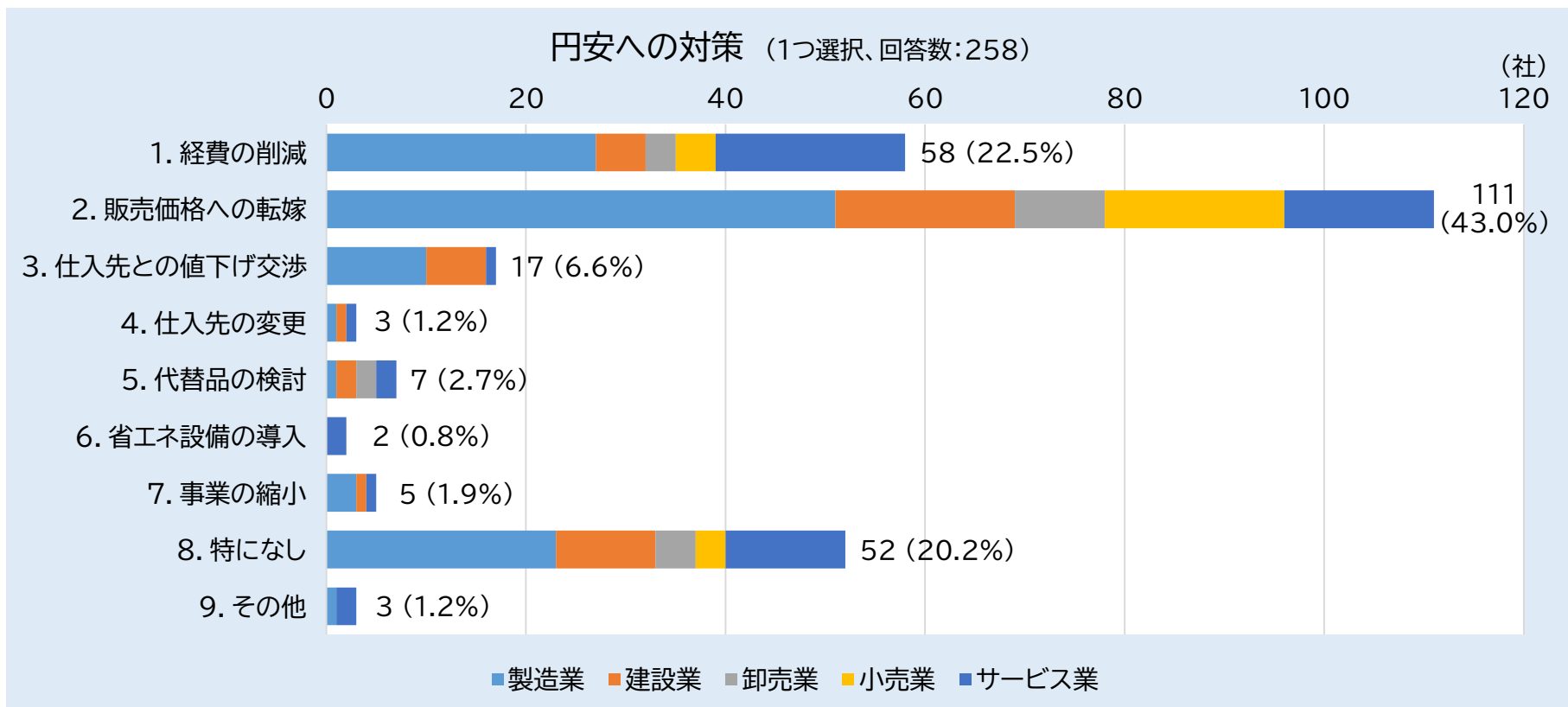
## 円安の悪影響の内容(業種別)

- 円安の悪影響の内容について業種別にみると、すべての業種で「仕入価格の上昇」が最も多く、次いで「燃料費(ガソリン代等)の上昇」が多かった。
- 建設業とサービス業は、「燃料費(ガソリン代等)の上昇」の割合が他の業種に比べて大きかった。



## 円安への対策(全体)

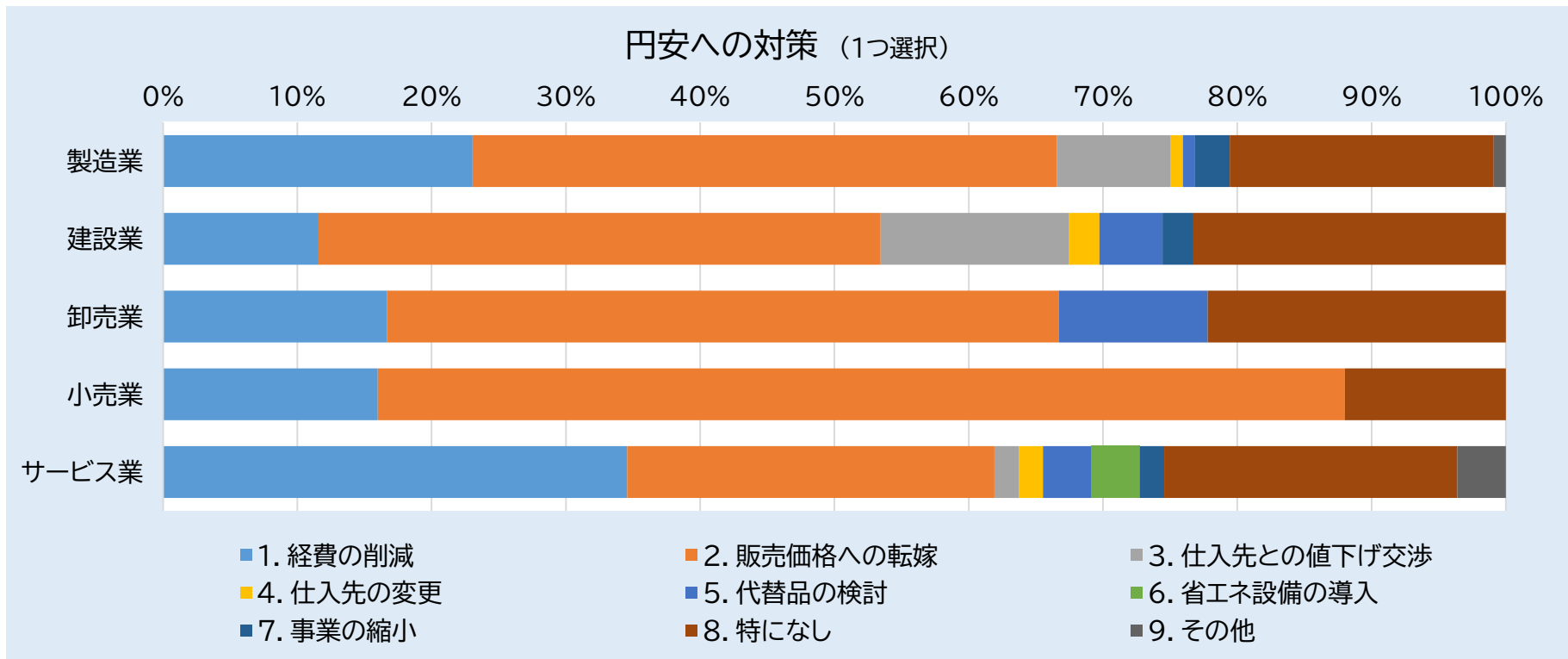
- 円安への対策について尋ねたところ、「販売価格への転嫁」、「経費の削減」の順に多かった。
- 「特になし」は全体の約20%で、3番目に多かった。



(端数の四捨五入により各項目の合計が100%とならない場合がある)

## 円安への対策(業種別)

- 円安への対策について業種別にみると、サービス業では「経費の削減」が、その他の業種では「販売価格への転嫁」が最も多かった。
- 製造業と建設業は、「仕入先との値下げ交渉」の割合が他の業種に比べて大きかった。



1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

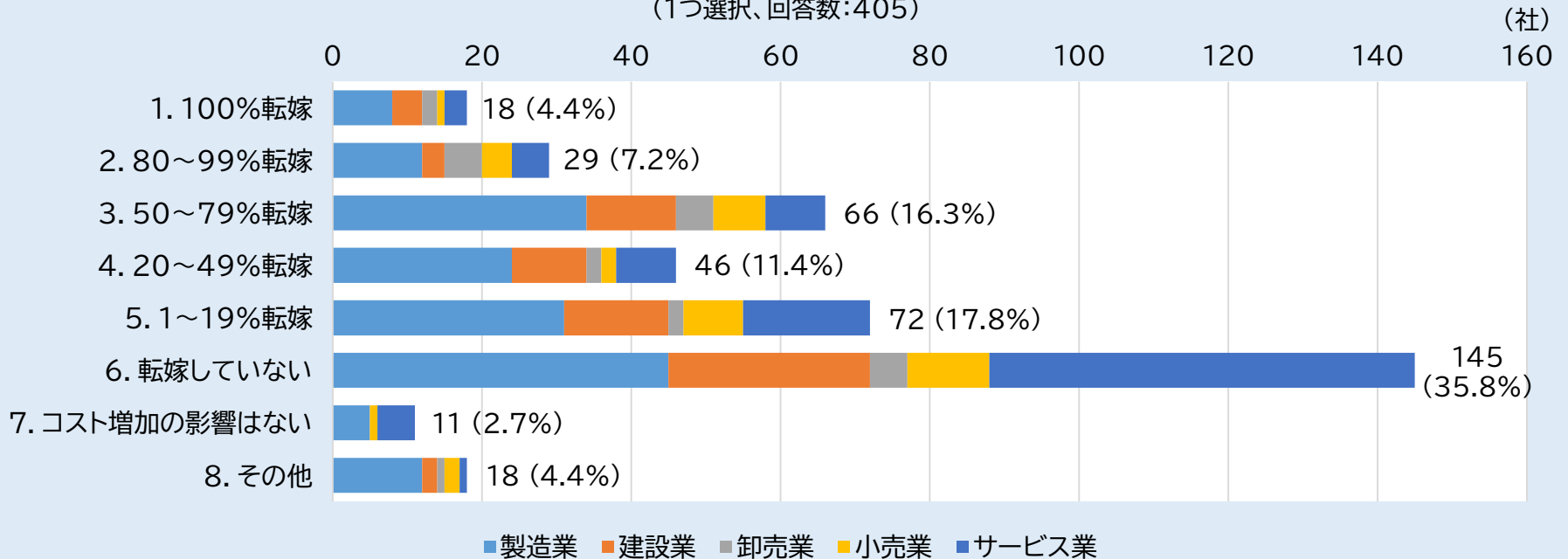
5. 追加設問

## 原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響(全体)

- 原油・原材料価格上昇と円安による販売価格への影響について尋ねたところ、「転嫁していない」が最も多かった。
- 全体の約3分の2が、転嫁していないか、50%未満の転嫁となっていた。  
(「転嫁していない」、「1~19%転嫁」、「20~49%転嫁」の合計)

原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響

(1つ選択、回答数:405)



(端数の四捨五入により各項目の合計が100%とならない場合がある)



## 原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響(業種別)

- 原油・原材料価格上昇と円安による販売価格への影響について、業種別にみると、卸売業以外では「転嫁していない」が最も多かった。卸売業は「80～99%転嫁」、「50～79%転嫁」、「転嫁していない」が同数であった。
- サービス業は、他の業種と比べて「転嫁していない」の割合が大きかった。

原油・原材料価格上昇と円安の販売価格への影響 (1つ選択)

